

平成25年度

相模原市立博物館

年報



世界初公開だったんだって
カプセルから取り出したイトカワの微粒子だよ

QRコード

ブログ



ツイッター



相模原市立博物館
SAGAMIHARA CITY MUSEUM

平成26年4月1日

目 次

相模原市立博物館概要	1
1 設立の経緯	
2 設置目的	
3 略年	
4 平成 2 5 年度博物館重点目標	
管理運営	4
1 組織及び職員 (1) 組織と事務分掌 (2) 職員	
2 博物館協議会 (1) 趣旨 (2) 委員構成 (3) 活動状況	
3 施設 (1) 施設概要 (2) 施設管理	
4 予算	
教育普及	9
1 入館者数 (1) 2 5 年度計 (2) 総計 (3) 詳細	
2 企画展等	
3 講座・講演会・教室・観望会等の事業	
4 プラネタリウム・全天周映画	
5 その他 (1) 情報サービスコーナー	
6 学校と博物館の連携を進める研究会	
7 広報・出版等	
8 博物館学芸員実習	
9 学習利用	
10 博物館職員の講師依頼等	
11 市民との協働	
資料管理	31
1 博物館収蔵資料点数	
2 資料・収集・整理	
3 購入資料	
4 有害生物管理の実施 (1) 受入れ資料のくん蒸 (2) 有害生物調査	
5 資料の特別利用	
調査研究	36
市史・町史編さん	37
1 相模原市史	
2 津久井町史	
博物館関連施設	40
1 尾崎号堂記念館	
2 吉野宿ふじや	
3 津久井郷土資料室	
4 入館者一覧表	

相模原市立博物館概要

1 設立の経緯

昭和 53 年 12 月、郷土懇話会や文化協会ほか 8 団体の連名で「博物館設置要望書」が市長に提出された。翌年、文化関係 6 団体からなる文化財研究協議会が結成され、ここで博物館設立について熱のこもった論議が行われた。設立総会での神崎彰利氏の講演「郷土の文化を守るために = 地域博物館の意義と役割」を理論的柱として、建設促進のための活動が展開された。

こうした市民の積極的な行動と同時に、昭和 55 年、市総合計画の中に「博物館・美術館などの文化施設の検討」が盛り込まれ、昭和 56 年 4 月に社会教育課に博物館準備係が設置され、博物館設立の第一歩が踏み出された。設立の過程で幾つかの問題があったが、最大の難問は建設用地で、旧米軍キャンプ淵野辺跡地処分決定に 6 か年を要したが、博物館をつくる懇話会が提言した“自然環境にめぐまれた”用地が確保された。

平成 7 年 11 月 20 日（市制記念日）に開館。開館後は 1 階の常設展示やプラネタリウムを中心に、特別展や講座・教室・観察会など、子どもから年長者までだれもが楽しく学べるよう、さまざまな事業を行っている。

2 設置目的

郷土の自然及び文化並びに天文に親しむとともに、これらに関する理解を深める場を市民に提供することにより、郷土を愛する心をはぐくみ、生涯学習の振興を図り、もっていきいきとした市民文化の創造に寄与するため、博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）第 2 条第 1 項に規定する博物館として、相模原市立博物館を相模原市中央区高根 3 丁目 1 番 15 号に設置する。（市立博物館条例第 2 条）

当館の特徴...自然（動物・植物・地質・天文部門）、人文（考古・歴史・民俗・地理部門）両分野にわたる総合博物館で、プラネタリウムを併設する博物館法に基づく登録博物館（H7.11.20 神奈川第 32 号）

3 略年表

年 月	事 項
昭和 5 5 年 4 月	相模原市総合計画に建設の検討が盛り込まれる
昭和 5 6 年 4 月	社会教育課に博物館準備係を設置
昭和 5 6 年 6 月	博物館をつくる懇談会を設置
昭和 5 6 年 1 0 月	博物館をつくる懇談会から建設構想策定の提言
昭和 5 8 年 2 月	(仮称)相模原市立博物館基本構想策定
昭和 5 8 年 6 月	展示専門委員会の設置
昭和 5 9 年 3 月	博物館展示基本計画の策定
平成 2 年 1 1 月	国有財産関東地方審議会において博物館建設用地の処分が認められる。(仮称)相模原市立博物館建設基本計画策定
平成 3 年 4 月	博物館建設事務所設置
平成 3 年 5 月	建築設計候補者選考委員会の設置
平成 3 年 7 月	建築設計プロポーザル提案図書提出
平成 3 年 8 月	建築設計者の決定 博物館をつくる懇談会市長へ意見書を提出し解散
平成 3 年 9 月	建築基本設計着手
平成 4 年 1 月	建設用地の取得 展示プロポーザル提案図書の提出
平成 4 年 2 月	展示設計・施工候補者選考委員会設置 展示設計・施工者の決定
平成 4 年 5 月	建設実施設計及び展示実施設計着手 プラネタリウム等候補機種選考委員会の開催
平成 5 年 6 月	博物館建設工事・展示工事・プラネタリウム等設備工事契約
平成 6 年 8 月	天体観測機器設置工事契約
平成 7 年 3 月	相模原市立博物館条例制定 登録原簿への登録を受ける(記号番号 神奈川第 3 2 号)
平成 7 年 7 月	博物館建設工事竣工
平成 7 年 1 0 月	展示工事・プラネタリウム等工事・天体観測機器設置工事竣工
平成 7 年 11 月 20 日 開館	
平成 8 年 5 月	入館者 1 0 万人達成記念式典(5 月 1 9 日)
平成 8 年 1 0 月	平成 8 年度第 4 1 回神奈川建築コンクール最優秀賞受賞
平成 9 年 4 月	障害者・高齢者・ひとり親家庭等の家族に対するプラネタリウム観覧料等の免除施策開始

平成 9 年 4 月	隣接地に淵野辺公園第 2 駐車場（50 台収容）が完成し、博物館駐車場と一体的な運用開始
平成 9 年 5 月	1997 年度日本建築学会作品選奨受賞
平成 9 年 10 月	平成 9 年度通商産業省選定グッド・デザイン施設受賞
平成 9 年 11 月	平成 9 年度第 38 回建築業協会賞受賞
平成 11 年 11 月	11/21 入館者数 50 万人を超える
平成 12 年 5 月	公共建築賞優秀賞受賞
平成 16 年 1 月	1/18 入館者数 100 万人を超える 入館者 100 万人達成セレモニー
平成 17 年 4 月	市立博物館シンボルマークを制定
平成 17 年 10 月	開館 10 周年記念特別展「博物館 10 年の歩み」を実施 10/22 入館者数 120 万人を超える
平成 18 年 10 月	博物館資料調査員 2 名を配置（19 年 4 月より 4 名配置）
平成 22 年 4 月	管理係が企画情報班に組織変更。市史編さん班新設（業務移管）
平成 22 年 7 月	小惑星探査機はやぶさのカプセル世界初公開
平成 23 年 4 月	天文展示室リニューアルオープン
平成 23 年 8 月	8/28 入館者数 200 万人を超える 入館者 200 万人達成セレモニー
平成 24 年 2 月	全天周映画「HAYABUSA BACK TO THE EARTH」の観覧者が 5 万人を超える
平成 25 年 7 月	吉野宿「ふじや」リニューアルオープン
平成 25 年 8 月	小惑星「イトカワ」の微粒子世界初公開

4 平成 25 年度 博物館 重点目標

重点目標

より親しまれる博物館とするための事業実施と調査研究を進めます。

重点施策

- 1 開館 20 周年である平成 27 年度に向け、JAXA 等との連携した企画展、講座・講演会等を行い、宇宙教育普及事業の推進を図ります。
- 2 博物館ネットワーク計画を進めるため、ネットワークセンター事業等を市民と協働で推進します（協働事業提案事業「みんなでつくる相模原知的探求散策アルバム」、「吉野宿ふじや活性化事業」など）。
- 3 常設展示リニューアル計画を進めるため、協働で検討するボランティアを募集し、具体的な展示手法等について市民とともに検討を進め、全市域を網羅した一体感のある常設展示を実現します。
- 4 事業展開においては、市民、大学との協働はもとより、民間企業との連携・協働の取組み、民間企業のノウハウの活用などを進めます。
- 5 市史・町史の編さんを進め、「相模原市史 現代テーマ編」を刊行します。
- 6 博物館評価制度の研究を進めます。

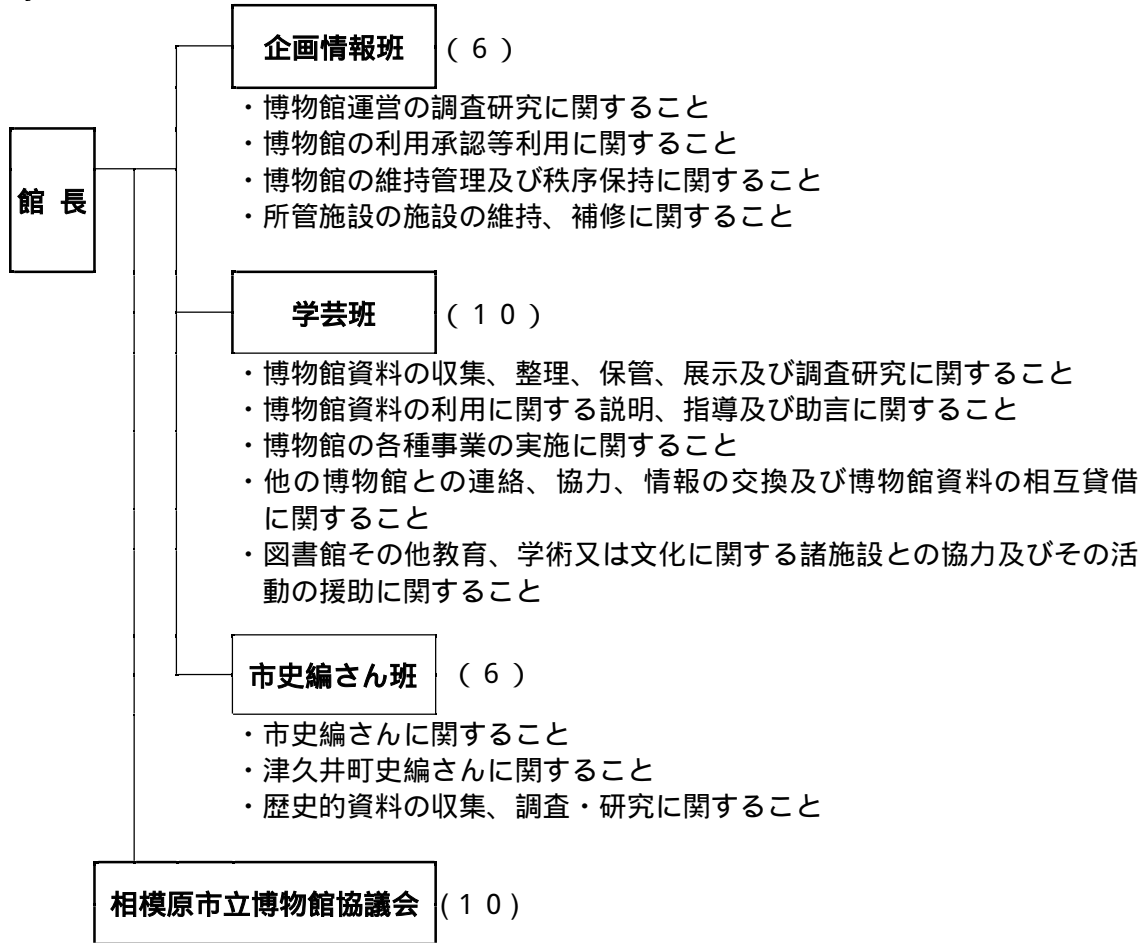
施策の取り組み方針

- 1 施設利用者や事業参加者の視点を大切にしながら取り組みます。
- 2 安全への配慮を怠らぬよう取り組みます。
- 3 基礎的な資料の収集・整理と保存を確実にいき、その研究成果を事業に生かします。

管理運営

1 組織及び職員

(1) 組織と事務分掌



(2) 職員

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

	館長	菊地原 恒市
企画情報班	総括副主幹	佐々木 春美
	主査	松木 悟
	主査	物江 隆
	主査	方波見 淳
	主査	金井 理代
	主任(再任用)	横山 正

(平成 26 年 4 月 1 日現在)

	参事兼館長	菊地原 恒市
企画情報班	総括副主幹	佐々木 春美
	主査	松木 悟
	主査	物江 隆
	主査	方波見 淳
	主査	脇岡 実穂子
	主任(再任用)	横山 正
	主任(再任用)	井上 明
	主任(再任用)	古瀬村 智充

平成 25 年度相模原市立博物館年報

学芸班	総括副主幹 指導主事 副主幹(学芸員) 副主幹(学芸員) 副主幹(学芸員) 主査 主査 主査(学芸員) 主査(学芸員) 主任(再任用)	木村 知之 渡邊 直展 山田陽志郎(天文) 土井 永好(歴史) 加藤 隆志(民俗) 有本 雅之(天文) 正 洋樹(考古) 秋山 幸也(生物) 河尻 清和(地質) 杉本 芳秋	学芸班	総括副主幹 指導主事 副主幹(学芸員) 副主幹(学芸員) 副主幹(学芸員) 主査 主査(学芸員) 主査(学芸員) 主任 主任(再任用)	木村 知之 渡邊 直展 山田陽志郎(天文) 土井 永好(歴史) 加藤 隆志(民俗) 正 洋樹(考古) 秋山 幸也(生物) 河尻 清和(地質) 有田 和人(天文) 杉本 芳秋
市史編さん班	担当課長(市史編さん班担当) 副主幹(町史担当) 副主幹 主査 主査(町史担当) 主任(再任用)	藤野 充 守屋 博文 森田 政英 井上 泰 草薙 由美 加藤 康雄	市史編さん班	担当課長(市史編さん班担当) 副主幹 副主幹(町史担当) 主査 主査(町史担当) 主任(再任用)	鳶野 正明 長谷川 章 守屋 博文 井上 泰 草薙 由美 加藤 康雄
非常勤特別職	学習指導員 2名 市史編さん調査員 1名			学習指導員 2名 市史編さん調査員 1名	

2 博物館協議会

(1) 趣 旨

博物館法に基づき、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関。

(2) 委員構成 任期2年

平成23年11月20日～平成25年11月19日

氏 名	備 考	選出区分
加 瀬 加寿恵	小学校教諭	学校教育
山 口 文 男	高等学校教諭	
戸 塚 厚 生	市文化財研究協議会会長	社会教育
岡 井 浩 子	市立小中学校PTA連絡協議会	
井 上 博 美	市女性学習グループ連絡協議会	家庭教育
小 瀬 康 行	東京家政学院大学教授	学識経験者
青 木 雄 司	神奈川県公園協会職員	
矢 野 創	宇宙科学研究所固体惑星研究系助教	
金 子 信 男	市民公募	
霧 生 千工子		

委員構成 任期 2 年

平成 25 年 11 月 20 日 ~ 平成 27 年 11 月 19 日

氏 名	備 考	選出区分
奈良美紀	小学校教諭	学校教育
嶋原ふみ子	高等学校校長	
戸塚厚生	市文化財研究協議会会長	社会教育
森山小百合	市立小中学校 P T A 連絡協議会	
井上博美	市女性学習グループ連絡協議会 副会長	家庭教育
小瀬康行	東京家政学院大学教授 会長	学識経験者
青木雄司	神奈川県公園協会職員	
羽生宏人	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所助教	
田口正男	市民公募	
今井真弓		

(3) 活動状況

回	開催日	おもな内容
1	7月3日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年度事業報告及び 25 年度博物館事業の概要について ・博物館の活動状況に関する評価について
2	10月2日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・答申案「博物館の活動状況に関する評価」について ・その他
3	1月28日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・会長及び副会長の選出 ・博物館協議会の概要、活動内容について ・博物館の概要について

3 施設

(1) 施設概要

ア 敷地面積	9,999.48㎡
イ 構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄筋造
ウ 規模	地下1階・地上3階建て
エ 建築面積	5,081.03㎡
オ 延床面積	9,510.24㎡

	用途・面積	主な室	内容
展示・教育	展示スペース (1,907㎡)	自然・歴史展示室 (1,170㎡)	「川と台地と人々の暮らし」をテーマに5つのコーナーから構成され、実物資料はもとより精密なレプリカやジオラマなどを利用し、具体的で分かりやすい展示がされている。
		天文展示室 (127㎡)	「宇宙とつながる」をテーマに、JAXA から借用した実物資料や、隕石、太陽望遠鏡のライブ映像など、身近に感じる資料を用いて、宇宙についての分かりやすい展示がされている。
		特別展示室 (487㎡)	常設展示とは別に、様々なテーマでの特別展示が行われる。
	学習スペース (453㎡)	実習実験室 (90㎡)	各種講座・観察会等を開催 6卓 48席
		情報サービスコーナー (127㎡)	郷土の自然や歴史に関する記録映像、参考図書を収集。子ども向けの図書もあり、自由に閲覧できる。
		大会議室 (237㎡)	各種講座・講演会等を開催 椅子席で200人収容
プラネタリウム (648㎡)	プラネタリウム (648㎡)	室内に210席を配置し、小学校の一つの学年が一度に観覧できる。スクリーンは直径23mのドーム型で、星空等の投影のほか大型映像(全天周映画)を上映できる。	
保管・研究	研究スペース (1,038㎡)	市民研究室 (294㎡)	自然と歴史分野の研究室が2階にあり、天文分野の研究室が1階にある。専門書の利用や学芸員への相談が行える。
		天体観測室 (74㎡)	口径40cmの反射望遠鏡が設置され、星空観望会等で実際に天体の観測を体験できる。
	整理作業室ほか	博物館資料の整理や調査研究を行うための諸室が設置されている。	
収蔵スペース (1,570㎡)	特別収蔵庫ほか	各分野別資料を良好な状態で安全に保存するため、温湿度管理及び警備を行っている。	
管理・共用	管理・共用スペース (3,894㎡)	事務室、喫茶室 ミュージアムショップほか	休憩コーナーや軽食のとれる喫茶室、博物館関連のグッズを販売するミュージアムショップ、博物館の管理運営のための事務室や機械室がある。

(2) 施設管理

施設の設備管理、警備、清掃業務は外部委託している。

消防訓練 平成25年10月24日(木)

平成26年1月22日(水)

平成 25 年度相模原市立博物館年報

4 予 算

(単位：千円)

款	項	目	科目名	25年度予算額	26年度予算額	財源内訳	25年度
50	20	05	生涯学習施設維持補修費	68	70	一般財源	68
						特定財源	0
50	20	45	博物館費	254,923	343,138	一般財源	229,159
						特定財源	25,764
計				254,991	343,208		254,991

生涯学習施設維持補修費

節		説 明		
区分	金額	博物館の運営及び維持管理に要する経費		
1 1 需用費	68	経費内訳		
			25年度	26年度
		1 施設修繕料	68	70
計	68	計	68	70

博物館費

節		説 明		
区分	金額	博物館の運営及び維持管理に要する経費		
0 1 報酬	4,049	経費内訳		
0 4 共済費	382		25年度	26年度
0 7 賃金	7,972	1 博物館協議会経費	340	311
0 8 報償費	21,172	2 施設運営費	60,846	58,889
0 9 旅費	605	(1) 資料収集保存経費	5,254	4,972
1 1 需用費	84,152	(2) 資料調査研究経費	2,162	2,283
1 2 役務費	1,413	(3) 展示・教育普及事業経費	21,482	19,058
1 3 委託料	116,160	(4) プラネタリウム事業経費	31,429	32,044
1 4 使用料及び賃借料	13,484	(5) その他運営費	519	532
1 8 備品購入費	879	3 施設維持管理費	155,108	236,653
1 9 負担金、補助及び交付金	4,647	4 市史編さん事業	32,678	41,022
2 7 公課費	8	(1) 相模原市史編さん事業	20,729	21,221
		(2) 津久井町史編さん事業	11,949	19,801
		5 協働事業提案制度事業	4,522	4,762
		(1) 吉野宿ふじや活性化事業	1,440	1,100
		(2) 情報ネットワークセンター事業	3,082	2,782
		(3) 尾崎弴堂記念館活性化事業	—	880
		6 一般事務費	1,429	1,501
計	254,923	計	254,923	343,138
合計	254,991	合計	254,991	343,208

教育普及

1 入館者数

(1) 25年度計 138,660 人 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(2) 総計 2,347,282 人

(3) 詳細

月	入館者数	プラネタリウム総数	プラネタリウム内訳			特別展	星空観望会	講演会 講座等	観覧料	開館 日数	1日 平均
			一般投影	全天周 映画	学習投影						
4月	8,177	3,100	2,295	805	—	4,280	99	308	¥ 1,034,660	25	327
5月	10,978	3,995	2,283	683	1,029	2,973	353	408	¥ 1,127,930	27	407
6月	12,294	4,765	2,519	805	1,441	5,513	220	1,081	¥ 1,337,340	26	473
7月	23,110	6,453	3,672	2,012	769	18,473	151	1,011	¥ 2,064,080	27	856
8月	19,163	9,419	5,595	3,802	22	14,443	484	1,233	¥ 3,062,650	27	710
9月	9,089	3,318	2,162	790	366	4,245	204	956	¥ 1,100,260	25	364
10月	9,694	3,761	1,757	628	1,376	3,752	86	594	¥ 1,037,370	27	359
11月	11,336	5,651	1,578	563	3,510	5,019	180	1,491	¥ 770,300	26	436
12月	7,625	3,352	946	1,439	967	4,521	276	1,027	¥ 796,560	23	332
26年1月	9,502	4,238	1,556	1,313	1,369	6,757	115	1,155	¥ 952,270	24	396
2月	6,207	2,619	876	503	1,240	3,813	81	407	¥ 563,820	23	270
3月	11,485	5,234	1,559	2,917	758	2,933	120	443	¥ 1,487,640	26	442
25年度計	138,660	55,905	26,798	16,260	12,847	76,722	2,369	10,114	¥ 15,334,880	306	453

* (参考) 開館からの総計

7年度	78,395	38,262	16,796	12,688	8,778	22,199	618	836	¥ 11,099,520	107	733
8年度	125,599	58,023	26,849	20,571	10,603	36,682	1,237	3,186	¥ 18,187,120	300	419
9年度	105,793	43,355	18,654	16,055	8,646	28,388	1,104	3,167	¥ 12,233,880	300	353
10年度	107,306	45,038	18,577	17,747	8,714	24,779	624	5,696	¥ 12,820,900	299	359
11年度	115,031	53,660	20,759	23,651	9,250	36,670	665	5,255	¥ 15,325,720	295	390
12年度	111,161	46,879	17,302	18,777	10,800	31,658	634	5,258	¥ 11,921,600	302	368
13年度	132,776	59,062	20,169	28,312	10,581	57,647	910	4,574	¥ 14,329,780	305	435
14年度	119,068	48,791	19,702	18,277	10,812	55,672	925	4,277	¥ 12,221,160	303	393
15年度	126,120	53,625	18,655	24,859	10,111	51,538	1,133	6,873	¥ 13,904,050	302	418
16年度	111,610	45,780	19,555	16,139	10,086	39,551	1,050	5,148	¥ 11,562,090	300	372
17年度	116,552	52,466	19,404	22,223	10,839	47,479	844	5,725	¥ 12,776,280	301	387
18年度	113,605	52,948	16,783	25,516	10,649	49,588	773	6,896	¥ 14,321,720	303	375
19年度	122,375	49,875	15,973	23,156	10,746	58,218	925	8,245	¥ 13,369,000	304	403
20年度	128,124	52,294	18,612	22,017	11,665	58,436	1,294	11,517	¥ 13,831,800	303	423
21年度	136,000	50,540	16,458	23,109	10,973	64,653	1,846	9,681	¥ 13,679,160	303	449
22年度	182,880	78,991	22,457	44,068	12,466	103,988	1,861	6,249	¥ 25,095,880	301	608
23年度	137,608	61,648	24,887	24,099	12,662	70,716	1,283	9,438	¥ 17,780,860	306	450
24年度	138,619	55,377	30,731	12,011	12,635	68,305	2,228	9,100	¥ 15,274,420	307	452
25年度	138,660	55,905	26,798	16,260	12,847	76,722	2,369	10,114	¥ 15,334,880	306	453
総計	2,347,282	1,002,519	389,121	409,535	203,863	982,889	22,323	121,235	¥275,069,820	5,547	423

2 企画展等

(1) 企画展「相模原市の遺跡 2013 縄文時代のまつりの道具～川尻遺跡・小池氏コレクション展」

- ア 内容 縄文人は、土偶・耳飾りなどの土製品や石棒・石剣といった石製品を作り、まつりに用いた。今回は国指定史跡川尻石器時代遺跡で多く発見された道具を中心に紹介、展示を行った。
- イ 期間 4月2日(火)～5月6日(月)
- ウ 観覧料 無料
- エ 広報 市広報、ホームページ、ポスター、チラシ
- オ 観覧者 延べ 5,970人
- カ 関連事業 展示解説 4月7日(日)・4月28日(日)・5月6日(月)
- キ 参加者 延べ 65人

(2) 収蔵品展「蔵の中の世界・福田家資料紹介～市民の力で博物館資料へ～」 (3)と同時開催

- ア 内容 市民(福の会)とともに整理を行っている福田家の蔵に保管されていた資料を中心に、かつての地域の暮らしぶりを伝える資料を公開した。
- イ 期間 5月25日(土)～6月30日(日)まで
- ウ 観覧料 無料
- エ 広報 市広報、ホームページ、ポスター、チラシ
- オ 観覧者 延べ 6,796人
- カ 関連事業 6月2日(日)・6月23日(日)には展示説明「展示を語ろう」と題して、展示作業に当たった福の会の会員が説明を行った。
- キ 参加者 延べ 238人

(3) 収蔵品展「収蔵品で知る尾崎弔堂の明治・大正・昭和」 (2)と同時開催

- ア 内容 憲政の父、尾崎行雄(弔堂)に関する近年収集された書簡などの資料を公開した。
- イ 期間 5月25日(土)～6月30日(日)まで
- ウ 観覧料 無料
- エ 広報 市広報、ホームページ、ポスター、チラシ
- オ 観覧者 延べ 6,796人

(4) 企画展 JAXA × 博物館 はやぶさ2応援企画展「片道から往復へ」～新たな宇宙時代の到来～

- ア 内容 これまでの「はやぶさ」の実績を踏まえ、平成26年度に打上げが予定されている「はやぶさ2」計画の紹介を始め、旧ソ連(現ロシア)が実験で使用したピオン衛星の回収用カプセルなど、実際に宇宙から地球に戻ってきた実験装置や、最近ロシアに落下したチェラビクス隕石などを展示した。
また、小惑星探査機「はやぶさ」が持ち帰った小惑星「イトカワ」の微粒子を期間限定で展示し、光学顕微鏡で直接観覧することができる世界初の特別公開を実施した。
- イ 期間 企画展 7月13日(土)～9月1日(日)
微粒子公開 7月17日(水)～7月28日(日)
- ウ 観覧料 無料(ただし、微粒子公開については事前申し込み・当日整理券)
- エ 広報 市広報、ホームページ、ポスター、チラシ
- オ 観覧者 延べ 33,675人(内微粒子観覧者 7,146人)
- カ 関連事業 展示説明 8月10日(土)・8月18日(日)・8月24日(土)・9月1日(日)
- キ 参加者 延べ 110人

記念講演会「やっぱり小惑星はおもしろい」 7月28日(日)
講師 布施哲治さん(情報通信研究機構主任研究員)

ク 参加者 90人

(5) 収蔵品展 「埋もれた“モノ”に光を！・津久井郷土資料室資料紹介 ～市民の力で博物館資料へ～」 (6)・(7)と同時開催

ア 内容 新聞やチラシ・パンフレットをはじめ、マッチ箱・キャラメル箱・包装紙など、津久井郷土資料室にあるさまざまな資料を紹介した。

イ 期間 9月14日(土)～10月27日(日)まで

ウ 観覧料 無料

エ 広報 市広報、ホームページ、ポスター、チラシ

オ 観覧者 延べ 7,238人

カ 関連事業 9月15日、9月22日、10月26日、10月27日(いずれも日)に展示説明「展示を語ろう」と題して、展示作業に当たった水曜会の会員が説明を行った。

キ 参加者 延べ 511人

(6) 企画展 館野鴻 絵本原画展「ぎふちょう」 (5)・(7)と同時開催

ア 内容 ぎふちょうの一生をミクロな視点からとらえ、命のめぐりを細密に、かつ壮大なスケールで描いた話題の絵本の原画を展示した。

イ 期間 9月14日(土)～10月27日(日)まで

ウ 観覧料 無料

エ 広報 市広報、ホームページ、ポスター、チラシ

オ 観覧者 延べ 7,238人

カ 関連事業 9月14日(土)

ギャラリートーク 「このすばらしきちっぽけな世界」

キ 講師 館野鴻さん(動物画家)

ク 参加者 30人

(7) 博物館実習生制作展 (5)・(6)と同時開催

ア 内容 博物館実習における実務実習の一環として、分野別の収蔵資料を中心とした展示制作を行い、実習生が企画・資料研究・パネル制作・列品までを体験した。

イ 期間 9月14日(土)～10月27日(日)まで

ウ 観覧料 無料

エ 広報 ホームページ

オ 観覧者 延べ 7,238人

(8) 学習資料展 大地さんと未来さんが見つける ちょっと昔の暮らし ～なにになに？この道具～

ア 内容 小学校3・4年生の社会科学習の単元に合わせ、館所蔵品を中心に「昔の道具や暮らし」を紹介した。今年度は地域のおじいちゃんやおばあちゃんが子どもの頃に使っていた洗濯機、蠅帳、炭火アイロン、火鉢、やぐらコタツなどの「道具」を中心に展示を行った。また、期間中は市民学芸員によるチャレンジ体験コーナーやクイズコーナーを開催した。

イ 期間 11月9日(土)～平成26年2月23日(日)

ウ 観覧料 無料

エ 広報 市広報、ホームページ、ポスター、チラシ

オ 観覧者 延べ 20,110人

カ 関連事業 「チャレンジ体験コーナー」

キ 内容 「紙芝居」や「割り箸鉄砲」・「石臼ひき」などを体験した。

ク 実施日 11月9日(日)～平成26年2月23日の日曜日 全8回

ケ 参加者 延べ 1,801人

(9) 相模原市の遺跡 2014 「境川流域の開発と暮らし」

- ア 内容 相模野台地と多摩丘陵の間を流れる境川に焦点を当てた。境川の右岸・左岸（相模原市・町田市（八王子市））における旧石器時代から古代までの遺跡を通史的に取り上げ、境川流域がどのように開発され、また人々がどのように暮らしてきたかを探る。これにより郷土の理解と親しみを市民に紹介する機会として各種展示を行った。
- イ 期間 平成 26 年 3 月 21 日（金）～ 5 月 6 日（火）
- ウ 観覧料 無料
- エ 広報 市広報、ホームページ、ポスター、チラシ
- オ 観覧者 延べ 2,933 人（3 月 31 日現在）
- カ 展示解説 平成 26 年 3 月 30 日（日） 45 人
- キ 関連事業 「東と西が会おう丘～考古学からみた境川左岸の多摩丘陵」
- ク 実施日 平成 26 年 3 月 23 日（日）
- ケ 講師 長佐古真也さん（東京都埋蔵文化財センター）
- コ 参加者 127 人

3 講座・講演会・教室・観望会等の事業

(1) パンスタース彗星を観察するつどい

- ア 内容 近年になく明るいパンスタース彗星を、天体望遠鏡や双眼鏡で観察した。
- イ 実施日 4 月 7 日（日）
- ウ 参加者 46 名

(2) 民俗講座「スライドで見る相模原の民俗」

- ア 内容 これまでの調査で撮影してきたさまざまスライドの中から、祭礼行事や石仏など、いくつかのテーマの基に、相模原の民俗の特徴について学んだ。
- イ 実施日 4 月 13 日（土）～平成 26 年 4 月 12 日（土） 全 12 回（降雪で 1 回は 26 年 4 月に延期）
- ウ 参加者 延べ 1,129 名（26 年 4 月開催分を含む）
- エ 講師 当館学芸員

(3) さがみはら宇宙の日

- ア 内容 毎月 1 回研究者を招き、講演やワークショップを開催した。このうち、偶数月は平成 24 年度に引き続き「あかつきトークライブ」と題し、金星探査機「あかつき」について、そのミッションを振り返るとともに、研究者を囲んでトークライブ等を開催した。
- イ 実施日
- | | |
|--------------|------------------------------------|
| 4 月 27 日（土） | あかつきトークライブ 「赤外線で温度を測る」 |
| 5 月 26 日（日） | 「イカロスの太陽系飛行・未来の宇宙探査」 |
| 6 月 16 日（日） | あかつきトークライブ 「金星の天気と季節」 |
| 7 月 28 日（日） | 「やっぱり小惑星はおもしろい！」 |
| 8 月 31 日（土） | あかつきトークライブ 「探査機の通信」 |
| 9 月 16 日（月） | 「アンデスの巨大望遠鏡 ALMA で探る星と銀河の誕生」 |
| 10 月 26 日（土） | あかつきトークライブ 「探査機と熱」 |
| 11 月 3 日（日） | 「衛星観測による太陽研究最前線：ひので、そして SOLAR-C へ」 |
| 12 月 8 日（日） | あかつきトークライブ 「ハワイ望遠鏡で金星ウォッチング」 |
| 1 月 12 日（日） | 「人工衛星を見てみよう！」 |
| 2 月 11 日（火） | あかつきトークライブ 「探査における失敗とは何か」 |
| 3 月 1 日（土） | 「日本の月探査機 SELENE（かぐや）がみたもの」 |

ウ 参加者 85人
90人
105人
90人
73人
87人
55人
44人
70人
65人
85人
44人 合計 893人

エ 講師 福原哲哉さん（北海道大学大学院理学研究院特任助教）
大月祥子さん（あかつき搭載 I R1 カメラ開発担当者）
津田雄一さん（JAXA宇宙科学研究所准教授）
神山徹さん（産業技術総合研究所研究員）
大月祥子さん（あかつき搭載 I R1 カメラ開発担当者）
布施哲治さん（情報通信研究機構主任研究員）
戸田知朗さん（JAXA宇宙科学研究所准教授）
阪本成一さん（JAXA宇宙科学研究所教授）
講師本人の希望により氏名非公開
清水敏文（JAXA宇宙科学研究所准教授）
岩上直幹さん（東京大学大学院教授理学系研究科教授）
当館学芸員
中村正人さん（JAXA宇宙科学研究所教授・金星探査機あかつきプロジェクトマネージャー）
春山純一さん（JAXA宇宙科学研究所助教）

（４）星空観望会

ア 内容 季節に応じた天体観測により天文知識の普及を図った。
開催回数を月2回、7月は1回、（8月は5回：事前申込み／抽選）
当日受付先着120人の定員として実施した。
イ 実施日 金曜日または土曜日
ウ 参加者 延べ 2,369人
エ 対応 当館職員、プラネタリウム解説員、市民学芸員

（５）博物館のまわりのミニ観察会

ア 内容 博物館周辺で身近な生きものを観察した。
イ 実施日 4月27日（土）～26年3月22日（土） 全12回
ウ 参加者 延べ 215人
エ 講師 当館学芸員

（６）民俗探訪会「下溝地区を歩く」

ア 内容 博物館で活動する市民ボランティア（民俗調査会）が学芸員と共に、下溝地区の社寺や石仏などの見所を案内した。
イ 実施日 5月8日（水）
ウ 参加者 41人
エ 講師 当館学芸員及び民俗調査会A会員

(7) 地質学講座「地質学入門」

- ア 内容 地質学とはどのような学問なのか、地質・岩石・地質構造・地質年代など、地質学の基礎を学んだ。
- イ 実施日 5月12日(日)～6月9日(日) 全4回
- ウ 参加者 延べ 201人
- エ 講師 当館学芸員

(8) 植物学教室「押し葉標本のつくりかた」

- ア 内容 植物の分類方法や標本づくりなどを通して、植物の見分け方や調べ方、記録の仕方などを学んだ。
- イ 実施日 5月25日(土)～6月8日(土) 全3回
- ウ 参加者 延べ 42人

(9) 「はやぶさの日」特別無料上映

- ア 内容 「はやぶさの日」を記念して、全天周映画「HAYABUSA BACK TO THE EARTH～帰還バージョン DC版」・プラネタリウム「はやぶさ2の挑戦～新たな小惑星探査へ～」を無料で上映した。
- イ 実施日 6月13日(木) 全3回
- ウ 観覧料 無料(整理券)
- エ 観覧者数 延べ 392人

(10) 火山灰を顕微鏡で見よう

- ア 内容 火山灰に含まれている鉱物を顕微鏡で観察した。
- イ 実施日 6月23日(日)
- ウ 参加者 87人
- エ 講師 当館学芸員、相模原地質研究会、相模原青陵高校地球惑星科学部

(11) 津久井町史自然編刊行記念自然観察会

- 「オオムラサキの生活と夏の城山」
「仙洞寺山の地層と鳥たち」
「オオムラサキの幼虫と城山の冬鳥」

- ア 内容 3月に刊行した「津久井町史自然編」に掲載されている、オオムラサキや季節の草花などを観察した。
緑区青山の仙洞寺山周辺で、地層や動物の形跡など冬の自然観察会を実施した。
- イ 実施日 降雪のため中止
7月15日(月)
平成26年1月26日(日)
平成26年2月11日(祝・火)
- ウ 参加者 37人
28人
降雪のため中止

(12) 博物館で楽しく学ぼう「夏休み子ども学習相談」

- ア 内容 夏休みの自由課題・研究などについて、学芸員や学習指導員がアドバイスを行った。
- イ 実施日 7月20日(土)～9月1日(日)
- ウ 参加者 延べ 97人
- エ 講師 当館学芸員、学習指導員

(13) JAXA 相模原キャンパス特別公開関連イベント 宇宙学校スペシャル

- ア 内容 JAXA の研究員がそれぞれの研究内容を分かりやすく解説し、子どもたちなどから寄せられる質問に答えた。
- イ 実施日 7月26日(金)・27日(土) 宇宙学校は2回、トークイベントは1回
- ウ 参加者 延べ 770人
トークイベント 210人
宇宙学校スペシャル 延べ 560人

(14) 子ども鉱物教室「鉱物のふしぎ」

- ア 内容 ミョウバン結晶の育成実験や鉱物の硬さ比べなどを通して、鉱物についての初歩を学習した。
- イ 実施日 8月2日(金) 8月9日(金) 全2回
- ウ 参加者 延べ 53人
- エ 講師 当館学芸員

(15) 大日野原遺跡発掘調査 現地説明会

- ア 内容 市立博物館と中央大学との共同で発掘調査中の遺跡とこれまでに出土した遺物の解説を行った。
- イ 実施日 8月7日(水)
- ウ 参加者 7人
- エ 講師 中央大学研究員

(16) 夏休み親子天文教室「手づくり天体望遠鏡」

- ア 内容 親子で天体望遠鏡工作キットを組み立て、天体を観察した。
- イ 実施日 8月13日(火)
- ウ 参加者 68人
- エ 講師 天文担当職員、博物館天文ボランティア

(17) 探検!クイズラリー!!

- ア 内容 自然・歴史及び天文展示室の内容を問題に設定し、クイズラリー形式で、小学生を中心とした来館者に展示内容を知らせる機会とした。
- イ 実施日 8月24日(土) 8月25日(日) 全2回
- ウ 参加者 延べ 727人
- エ 案内 市民学芸員

(18) 民俗講演会「柳田國男と内郷村調査」

- ア 内容 大正7年に当時の内郷村(現在の緑区寸沢嵐・若柳地区)において、柳田國男を中心とした「郷土会」によって行われた調査の内容や意義についての講演を行った。
- イ 実施日 8月4日(日)
- ウ 参加者 100名
- エ 講師 小川直之さん(國學院大學教授)

(19) 小中学生のための生物学教室

- ア 内容 学校の授業よりも一段階レベルの高い本格的な生物学の実習を体験させることにより、科学への視野を広げることを目的とした。
- イ 実施日 8月28日(水)
- ウ 参加者 26人
- エ 講師 松橋利光さん(動物カメラマン)
後藤貴浩さん(ペット店オーナー)・当館学芸員

(20) 植物学教室「花の観察と植物画」

- ア 内容 植物を観察し、その美しさを正確にスケッチする技法を学んだ。
イ 実施日 9月7日(土)・9月8日(日) 全2回
ウ 参加者 延べ 46人
エ 講師 豊田路子さん(植物画家)

(21) イプシロンロケット打上げパブリックビューイング

- ア 内容 内之浦宇宙空間観測所から惑星分光観測衛星「スプリントA」を搭載したイプシロンロケットの打上げの様をリアルタイムでインターネット中継した放送を博物館エントランスで視聴した。
イ 実施日 9月14日(土)
ウ 参加者 209人

(22) 市史講演会・津久井町史自然編刊行記念 「虫は不思議でおもしろい！」

- ア 内容 「津久井町史自然編」執筆者の一人である養老孟司さんが、自身の研究を通して、虫の不思議さや面白さについての講演を行った。
イ 実施日 9月22日(日)
ウ 参加者 192人
エ 講師 養老孟司さん(解剖学者・東京大学名誉教授)

(23) 「天文教室」

- ア 内容 アイソン彗星は今どこに?小惑星探査機「はやぶさ2」がめざす小惑星「1999 JU3」とは? JAXAから講師を迎え、彗星と小惑星の話題、そして天体望遠鏡操作の基礎を学んだ。
イ 実施日 10月11日(金)~11月29日(金) 全7回
ウ 参加者 延べ 161人
エ 講師 10月11日(金) 矢野創さん (JAXA宇宙科学研究所助教) 25名
10月18日(金) 猿楽祐樹さん (JAXA宇宙科学研究所研究員) 35名
その他金曜日 当館学芸員

(24) 歴史講演会「日本史の愉しみ、地域史のススメ~歴史研究の魅力とは?~」

- ア 内容 講師のマスコミ出演や出版活動での実績を踏まえ、日本史の最新トピックを紹介し、講師の研究テーマである「明治期の忠生村」から三多摩東京府移管前後の南多摩郡(高座郡隣接)に関する講演を行った。
イ 実施日 10月27日(日)
ウ 参加者 134人
エ 講師 河合敦さん(歴史研究家・早稲田大学講師)

(25) 若田光一宇宙飛行士搭乗ソユーズ宇宙船打上げパブリックビューイング

- ア 内容 若田飛行士が搭乗するソユーズ宇宙船の打上げの様をカザフスタン共和国内の宇宙基地からリアルタイムでインターネット中継した放送を博物館エントランスで視聴した。
イ 実施日 11月7日(木)
ウ 参加者 233人

(26) 第21回衛星設計コンテスト最終審査会

- ア 内容 衛星設計コンテスト応募作品の中から、宇宙関連学会、研究機関、企業などの専門家による一次審査の結果、最終審査会に進む16作品が選ばれた。これらの作品について、最終審査会と表彰式を開催した。(衛星設計コンテスト実行委員会の事業を後援)
イ 実施日 11月9日(土)
ウ 参加者 200人

(27) 民俗探訪会「相原地区を歩く」

- ア 内容 相原地区（相模原市・町田市）の寺社や石仏などの見所を案内した。
- イ 実施日 11月13日（水）
- ウ 参加者 47人
- エ 講師 当館学芸員及び民俗調査会A会員

(28) 学びの収穫祭

- ア 内容 博物館で活動するボランティアや学生が、日頃の活動や研究などの成果を発表したほか、ボランティアによるワークショップなどを実施した。
- イ 実施日 11月16日（土）、17日（日）
- ウ 参加者 延べ 252人

(29) 昼間の金星観望会（試行）

- ア 内容 天体観測室の望遠鏡の通常の開館時間帯での活用を図り、実際の天体を観測することで天文への関心を高めるために昼間の観望会を試行した。
- イ 実施日 11月19日、20日、22日、26日、27日の全5回
- ウ 参加者 延べ 20人
- エ 対応 当館学芸員

(30) ワークショップ「押し葉のカレンダーをつくろう」

- ア 内容 植物調査会が集めて乾燥させた、いろいろな落ち葉や花殻、果実を使い自由な発想で材料を貼り付けてカレンダーを作成した。
- イ 実施日 11月24日（日）
- ウ 参加者 82人
- エ 対応 相模原植物調査会、当館学芸員

(31) 日本アストロバイオロジーネットワーク公開講演会「宇宙にいのちを探す」

- ア 内容 第1部では天文学・惑星科学・生物学などの研究者が、宇宙における生命研究についてリレー形式で講演を行い、第2部として全天周映画「ETERNAL RETURN ~いのちを継ぐもの~」を監修者の解説つきで特別上映した。
（日本アストロバイオロジーネットワークと共催）
- イ 実施日 12月1日（日）
- ウ 参加者 179人
（ア）第1部 リレー講演会
- エ 講師 「謎の深海生物にさぐる宇宙生命の可能性」長沼毅さん（広島大学大学院准教授）
「宇宙生物学とクマムシと私」堀川大樹さん（パリ第5大学研究員）
「火星での生命探査計画」山岸明彦さん（東京薬科大学教授）
太陽系外惑星と宇宙における生命 田村元秀さん（東京大学大学院教授）
正しい宇宙人の探し方～SETIの話～ 鳴沢真也さん（西はりま天文台専門員）
パネルディスカッション
「宇宙から深宇宙まで～生命の兆候を見出すには～」コーディネーター：矢野創さん（JAXA宇宙科学研究所助教）
（イ）第2部 全天周映画「ETERNAL RETURN」特別上映
- オ 解説者 本作品の監修者 高井研さん（海洋研究開発機構プログラムディレクター）
- カ 観覧料 500円
- キ 観覧者 107人

(32) 「砂を顕微鏡で見てみよう」

- ア 内容 日本各地の砂の中に含まれている鉱物や岩石を顕微鏡で観察した。
- イ 実施日 12月22日(日)
- ウ 参加者 122人
- エ 講師 当館学芸員

(33) 「繭うさぎづくり」

- ア 内容 市民学芸員の指導のもとで、繭を使ってうさぎを作り、作った繭うさぎは各自持ち帰った。
- イ 実施日 平成26年1月26日(日)
- ウ 参加者 180人
- エ 講師 市民学芸員

(34) 歴史講座「中世城館を知る講座」

- ア 内容 地域史学習を始める市民の入門講座として、座学のみでなく野外巡検を含めて段階的に分かりやすく講義した。日本中世の城館をテーマに、古代から近世までの居館・城郭の消長や特徴について解説するとともに、市域に残る中世城館跡の概要を学習した。
- イ 実施日 平成26年2月2日(日)、23日(日)、3月2日(日) 全3回(降雪のため4回予定の1回を中止)
- ウ 参加者 延べ 49人
- エ 講師 当館学芸員

(35) 生物講演会「絶滅危惧種カザグルマの保全に向けて」

- ア 内容 市内に自生する絶滅危惧種カザグルマについて、現状を知り、保全活動のこれからについてミニシンポジウムを行った。
- イ 実施日 平成26年2月23日(日)
- ウ 参加者 58人
- エ 講師 飯島眞さん(カザグルマ研究者)

(36) 『まちだ・さがみはら 絆・創・光 × JAXA』相模原会場

- ア 内容 宇宙から見た地球環境についての講演や博物館の天体望遠鏡による月や木星の観望会を通して地球温暖化や光害などの大気環境について考えた。(町田市環境資源部環境・自然共生課及び相模原市環境経済局環境共生部環境政策課事業を後援)
- イ 実施日 平成26年3月8日(土)
- ウ 参加者 86人
- エ 講師 大川拓也さん(JAXA宇宙科学研究所)

4 プラネタリウム・全天周映画

(1) 平成25年度観覧者合計 55,905人

(2) 一般投影(プラネタリウム)

- ア 内容 解説員による季節の星空解説と企画番組で構成(所要約40分)
- イ 番組 「もっと知りたい土星のなぞ」
4月2日(火)～5月31日(金)
「はやぶさ2の挑戦」
6月1日(土)～9月1日(日)
「超巨大望遠鏡～ALMAとTMT～」
9月3日(火)～11月15日(金)

「彼方からの旅人～明け方のアイソン彗星～」

1 1 月 1 6 日 (土) ～ 平成 2 6 年 1 月 1 3 日 (月 ・ 祝)

「1.2.3.4! 星空あそび」

平成 2 6 年 1 月 4 日 (土) ～ 平成 2 6 年 3 月 3 0 日 (日)

「X線で探る熱き宇宙」～すざくからASTRO-Hへ～

平成 2 6 年 1 月 1 7 日 (金) ～ 3 月 3 0 日 (日)

- ウ 開始時間 平日、土・日・祝日・特別上映期間...午前11時00分
平日、土・日・祝日・特別上映期間...午後1時30分
平日、土・日・祝日・特別上映期間...午後2時40分
平日、土・日・祝日・特別上映期間...午後3時50分
- エ 観覧者 延べ 15,179人

(3) 一般投影 (こどもプラネタリウム)

- ア 内容 解説員による季節の星空解説と企画番組で構成 (所要約40分)
親子で一緒にプラネタリウムを楽しめる番組として、平成2
3年度から新規に投影を開始した。

- イ 番組 「おしえて! さがぼん お日さまって何いろ?」
4月2日(火)～9月1日(日)
「おしえて! さがぼん お月さまってなあに?」
9月7日(土)～10月27日(日)
「おしえて! さがぼん 宇宙のおしごと」
11月2日(土)～12月27日(金)

- ウ 開始時間 土・日・祝日・特別上映期間...午前11時
- エ 観覧者 延べ 6,892人 (25年度累計)

(4) 一般投影 (星空模様)

- ア 内容 解説員による季節の星空解説 (所要約40分)
4月2日(火)～7月15日(月)
9月7日(土)～平成26年3月16日(日)
- イ 開始時間 土・日・祝日・特別上映期間...午後1時30分
土・日・祝日・特別上映期間...午後3時50分
- ウ 観覧者 延べ 4,727人

(5) 全天周映画

- ア 内容 大型映像の全天周映画作品を上映
- イ 番組 「HAYABUSA BACK TO THE EARTH」～帰還バージョンDC版
4月2日(火)～6月16日(日)
「ETERNAL RETURN～いのちを継ぐもの～」
6月1日(土)～通年
「ドラえもん 宇宙ふしぎ大探検2」～太陽系のひみつ～
12月21日(土)～平成26年1月7日(火)
平成26年3月21日(金)～3月30日(日)
- ウ 開始時間 土・日・祝日・特別上映期間...午後2時40分
土・日・祝日・特別上映期間...午後3時50分
土・日・祝日・特別上映期間...午後1時30分
- エ 観覧者 延べ 16,260人

(6) 学習投影

- ア 内容 小中学校、幼稚園・保育園の団体観覧用の番組
- イ 番組 小中学校向け「今晚の星空」
「空を見上げると(夏/冬)」
「太陽と惑星」

幼児向け 「今晚の星空」
 「うちゅうの七にんきょうだい」
 「ピーターパンのぼうけん」
 「ぼくらのうちゅうりょこう～ダーツでめぐる銀河の旅～」
 「おしえて！さがぼん お月さまってなあに？」
 「おしえて！さがぼん 宇宙のおしごと」
 「おしえて！さがぼん お日さまって何いろ？」
 「おしえて！さがぼん 星空あそび」

ウ 投影時間 事前に利用団体と調整し、平日の午前1回、午後1回投影
 エ 観覧者 延べ 12,847人

(7) 広 報

プラネタリウム・全天周映画番組ごとに案内ポスター・チラシを作成

5 その他

(1) 情報サービスコーナー

ビデオ作品年間視聴回数	計	75回
DVDライブラリー作品年間視聴回数	計	338回
CD-ROM文庫のソフト年間閲覧回数	計	1回

6 学校と博物館の連携を進める研究会

(1) 趣 旨

学校教育の場で児童・生徒の多様な学習要求に応じた幅広い学習活動充実のために、博物館の効率的かつ積極的な利用を図り、博物館の持っている機能を十分に生かす学校と博物館の連携のあり方を研究・協議する機関。

(2) 委員構成 任期2年(平成24年7月1日～平成26年6月30日)

氏 名	備 考
根 岸 幸 雄	由野台中学校総括教諭 委員長
近 藤 信 一	共和小学校総括教諭 副委員長
立 石 忠 幸	新磯小学校教諭
堀 江 美紀子	中野小学校教諭
長 かおる	中央小学校教諭
米 谷 幸 久	大沼小学校教諭
吉 田 次 朗	弥栄中学校教諭
保 坂 啓 介	相武台中学校教諭

(3) 活動状況

回	開催日	おもな内容
1	6月7日(金)	「博物館貸し出しキット」宣伝用ポスター(1号)の作成
2	8月21日(水)	「博物館貸し出しキット」一覧表への写真添付 「博物館貸し出しキット」宣伝用ポスター(2号)の作成
3	11月19日(火)	「博物館貸し出しキット」宣伝用ポスター(3号)の作成 活動のまとめ

7 広告・出版等

(1) 印刷物・刊行物

- ア 企画展・学習資料展のポスター・パンフレット等
- イ プラネタリウム・全天周映画のポスター・チラシ等
- ウ 報告書等

(2) 有償刊行物一覧（平成26年3月31日現在）

博物館と市役所行政資料コーナーで販売 売上総計 ¥567,790 円

博物館 図録・報告書等売上

合計 61冊 ¥40,520 円

ア、特別展・企画展図録等

書名	販売価格	発行年月	売上冊数
郷土の巨匠・岩橋英遠展	¥1,000	H 7 . 11	完売
江南の至宝	¥1,300	H 8 . 2	完売
相模原の昆虫 - 身近にいる小さな仲間たち -	¥350	H 8 . 4	完売
日本の宇宙開発	¥1,000	H 8 . 11	完売
絵図から地形図へ - 近代地形図の誕生と発展 -	¥2,550	H 9 . 7	完売
太陽系 - 母なる太陽とその家族を巡る -	¥700	H 9 . 11	完売
浮世絵名品展	¥1,800	H 10 . 9	完売
水生昆虫の世界 - 水の中の小さな虫たち -	¥1,200	H 11 . 7	完売
描かれた農耕の世界	¥1,500	H 11 . 10	完売
花を描き、花を知る - 植物画の魅力 -	¥1,200	H 12 . 7	完売
幕末・維新の相模原 - 村の殿様 旗本藤澤次謙と村人たち -	¥1,500	H 12 . 10	完売
星の測量 - 角度をはかり、位置をもとめる -	¥700	H 13 . 7	2
”道”再発見 - 道の役割とその移りかわり -	¥1,500	H 13 . 10	完売
昆虫のふしぎ	¥500	H 14 . 7	0
水晶ってすばらしい! - その美と実用の魅力 -	¥1,000	H 15 . 7	5
晃嶺の百花譜	¥1,500	H 16 . 7	2
相模原 - その開発と変貌 -	¥800	H 16 . 10	13
地球 46 億年	¥900	H 17 . 7	6
相模川・桂川流域の縄文時代	¥950	H 18 . 10	完売

イ、報告書等

研究報告第7集	1999	¥850	H 10 . 3	完売
研究報告第8集	2000	¥850	H 11 . 3	完売
研究報告第9集	2001	¥900	H 12 . 3	完売
研究報告第10集	2002	¥900	H 13 . 3	完売
研究報告第11集	2002	¥850	H 14 . 3	完売
研究報告第12集	2003	¥900	H 15 . 3	0
研究報告第13集	2004	¥900	H 16 . 3	0
研究報告第14集	2005	¥900	H 17 . 3	0
研究報告第15集	2006	¥1,050	H 18 . 3	0
研究報告第16集	2007	¥1,150	H 19 . 3	0
研究報告第17集	2008	¥1,150	H 20 . 3	0
研究報告第18集	2009	¥700	H 21 . 3	0
研究報告第19集	2010	配布のみ	H 22 . 3	-
研究報告第20集	2012	配布のみ	H 24 . 3	-
研究報告第21集	2013	配布のみ	H 25 . 3	-
研究報告第22集	2014	配布のみ	H 26 . 3	-
相模原市民俗調査報告書	大島地区の自然と文化	¥900	H 10 . 3	完売

平成 25 年度相模原市立博物館年報

地図資料目録 一般図・主大図・地形図	¥1,200	H 12 . 3	完売
桐生亮コレクション標本目録	¥1,150	H 13 . 3	完売
相模原市民俗調査報告書 大島・上矢部・田名・上溝・当麻地区の民俗	¥600	H 14 . 3	8
資料目録4 テフラ標本目録	¥850	H 15 . 3	1
資料目録5 相模原植物誌	¥600	H 15 . 3	0
古淵B遺跡旧石器時代資料再整理調査報告書	¥850	H 17 . 3	1
博物館所蔵古文書目録	¥900	H 17 . 3	3
境川流域民俗調査報告書	¥500	H 17 . 3	完売
博物館資料調査報告書 相模川の水生昆虫	¥1,700	H 20 . 3	1
さがみはら自然ガイド カエル見つけた!!	¥180	H 21 . 5	19

ウ、展示解説書

常設展示解説書	¥1,000	H 8 . 11	1
合計			1

市史・町史

博物館と市役所行政資料コーナー及び市書店協同組合加盟店で委託販売

市史・町史合計 228冊 ¥527,270 円

ア、相模原市史

相模原市史 第1巻 (中世以前通史)	¥2,300	S 39 . 11	0
相模原市史 第2巻 (近世通史)	¥3,400	S 42 . 3	4
相模原市史 第3巻 (近代通史)	¥2,800	S 44 . 2	1
相模原市史 第4巻 (現代通史)	¥3,200	S 46 . 3	0
相模原市史 第5巻 (中世・近世資料集)	¥4,500	S 40 . 11	2
相模原市史 第6巻 (近代資料集)	¥3,200	S 43 . 2	1
相模原市史 第7巻 (別編)	¥1,900	S 47 . 3	0
相模原市史 現代図録編	¥1,500	H 16 . 11	13
相模原市史 現代資料編	¥3,700	H 20 . 3	1
相模原市史 自然編	¥3,400	H 21 . 5	15
相模原市史 民俗編	¥2,550	H 22 . 3	12
相模原市史 民俗編DVD版	¥1,550	H 22 . 3	1
相模原市史 現代通史編	¥2,100	H 23 . 3	12
相模原市史 考古編	¥2,650	H 24 . 3	38
相模原市史ノート創刊号	¥350	H 16 . 3	2
相模原市史ノート2号	¥700	H 17 . 3	2
相模原市史ノート3号	¥600	H 18 . 3	2
相模原市史ノート4号	¥600	H 19 . 3	2
相模原市史ノート5号	¥600	H 20 . 3	0
相模原市史ノート6号	¥700	H 21 . 3	5
相模原市史ノート7号	¥700	H 22 . 3	2
相模原市史ノート8号	¥650	H 23 . 3	1
相模原市史ノート9号	¥700	H 24 . 3	2
相模原市史ノート10号	¥700	H 25 . 3	13
相模原市史調査報告書1 旧石器時代遺跡資料調査報告書	¥1,400	H 19 . 3	2
相模原市史調査報告書2 動植物調査目録	¥2,400	H 21 . 3	4
相模原市史調査報告書3 相模原周辺の関東ローム層中の植物珪酸体からみた過去8万年間の気候植生変化	¥1,500	H 21 . 3	0
相模原市史調査報告書4 相模原市地域の第4紀地史研究のための指標テフラ(火山灰)	¥2,300	H 21 . 3	2
相模原市史調査報告書5 縄文時代遺跡資料調査報告書	¥1,000	H 21 . 3	3
相模原市史調査報告書6 勝坂有鹿谷祭祀遺跡資料報告書	¥1,350	H 22 . 3	6
相模原市史調査報告書7 当麻山無量光寺歴代人墓所石造塔婆群調査報告書	¥1,200	H 23 . 3	4
合計			152

平成 25 年度相模原市立博物館年報

イ、城山町史

城山町史 1	資料編 考古・古代・中世	¥7,000	H 4 . 3	0
城山町史 2	資料編 近世	¥6,000	H 2 . 3	1
城山町史 3	資料編 近現代	¥7,000	H 5 . 3	0
城山町史 4	資料編 民俗	¥5,150	S 63 . 3	0
城山町史 5	通史編 原始・古代・中世	¥3,500	H 7 . 3	1
城山町史 6	通史編 近世	¥3,500	H 9 . 3	0
城山町史 7	通史編 近現代	¥3,500	H 9 . 3	0
城山風土記 1	近現代編	¥600	H 3 . 3	1
城山風土記 2	近世文書を読むために	¥700	H 6 . 3	6
城山風土記 3	九十歳の雑記帳	¥600	H 7 . 3	1
城山風土記 4	歴史・民俗編	¥600	H 8 . 8	6
城山風土記 5	町の歩みをふりかえる	¥600	H 9 . 3	1
城山町史資料所在目録	近世文書	¥3,600	S 60 . 3	0
城山町史資料所在目録	近現代文書・近世文書補遺	¥2,900	S 61 . 12	0
城山町史新聞記事目録		¥1,200	S 62 . 3	0
町史の窓（復刻版）		¥1,100	H 18 . 3	2
合 計				19

ウ、津久井町史

津久井町史	資料編 近世 1	¥2,000	H 16 . 3	3
津久井町史	資料編 考古・古代・中世	¥2,900	H 19 . 3	4
津久井町史	資料編 近代・現代	¥3,150	H 21 . 2	3
津久井町史	資料編 近世 2	¥3,550	H 23 . 3	4
津久井町史	自然編	¥3,690	H 25 . 3	23
ふるさと津久井	第 1 号	¥1,000	H 12 . 3	完売
ふるさと津久井	第 2 号 特集 山に生きる	¥1,000	H 13 . 3	完売
ふるさと津久井	第 3 号 (特別号) 津久井の古地	¥1,000	H 14 . 3	完売
ふるさと津久井	第 4 号 特集 養蚕と織物(1)	¥1,000	H 15 . 9	完売
ふるさと津久井	第 5 号 特集 養蚕と織物(2)	¥750	H 24 . 3	7
津久井町史調査報告書	「津久井町の昆虫」	¥1,700	H 16 . 3	1
津久井町史調査報告書	「津久井町の昆虫」	¥1,500	H 20 . 3	1
津久井町史調査報告書	「津久井町の昆虫」	配布のみ	H 24 . 3	-
津久井町史調査報告書	「津久井町の昆虫」 CD版	配布のみ	H 24 . 3	-
津久井町史調査報告書	「津久井町の植物」	配布のみ	H 24 . 3	-
津久井町史調査報告書	「津久井町の植物」 CD版	配布のみ	H 24 . 3	-
津久井町史調査報告書	「津久井町の動物」	¥720	H 25 . 2	1
津久井町史調査報告書	「津久井町の気象」	¥1,840	H 25 . 2	2
津久井町史資料目録	公文書 1	¥2,300	H 22 . 3	0
津久井町史資料目録	公文書 2	¥1,700	H 24 . 3	0
津久井町史資料叢書	事務報告 1	¥1,850	H 22 . 3	0
津久井町史資料叢書	事務報告 2	¥1,850	H 22 . 3	0
合 計				49

エ、相模湖町史

相模湖町史	歴史編	¥14,000	H 13 . 3	1
相模湖町史	民俗編	¥5,600	H 19 . 2	0
相模湖町史	自然編	¥11,550	H 20 . 2	2
合 計				3

オ、藤野町史

藤野町史	資料編上	¥3,000	H 6 . 3	1
藤野町史	資料編下	¥3,000	H 6 . 3	0
藤野町史	通史編	¥4,000	H 7 . 3	3
ふじの町史	研究誌(第 1 号)	¥600	H 2 . 3	0
ふじの町史	研究誌(第 2 号)		H . .	完売
ふじの町史	研究誌(第 3 号)	¥600	H 5 . 3	1
ふじの町史	研究誌(第 4 号)		H 6 . 2	完売
ふじの町史	研究誌(第 5 号)	¥600	H 8 . 3	0
合 計				5

(3) 他の機関等との関連

ア ポスター掲示

前述の各ポスターを、市各機関・近隣博物館等へ送付し、掲示を依頼した。

イ 記事提供

広報さがみはら、相模原記者クラブ、新聞・雑誌・タウン誌等のメディアなどへ記事・パンフレットなどの情報を提供した。

ウ 放送番組口ケ

NHK、フジテレビ、J-COM、FMさがみなど博物館や博物館の事業を紹介するテレビ・ラジオ番組の取材に対応した。

8 博物館学芸員実習

学芸員資格習得のための実習として、8月6日～9月22日の内実質9日間に20人を受け入れた。分野別受入大学は以下のとおり。

分野	学校名	人数	分野	学校名	人数
考古	東京農業大学	1	生物	多摩美術大学	1
	東海大学	1		桜美林大学	1
歴史	中央大学	1	地質	帝京科学大学	1
	帝京大学	1		帝京科学大学	1
	国土館大学	1		専修大学	1
	昭和女子大学	1		神奈川工科大学	1
民俗	大東文化大学	1	天文	北里大学	1
	桜美林大学	1		帝京科学大学	1
	東京農業大学	1		首都大学東京	1
	東洋英和女学院大学	1		桜美林大学	1

9 学習利用

学校及びそれに類する団体の利用（プラネタリウム学習投影、展示学習、職業体験等）について、依頼に基づき博物館職員が対応した。

月	件数	人数	月	件数	人数	月	件数	人数	
4月	0	0	8月	2	65	12月	15	1,177	
5月	20	1,436	9月	7	394	1月	25	1,774	
6月	32	1,736	10月	31	1,868	2月	30	1,577	
7月	13	917	11月	49	3,580	3月	21	1,418	
							年計	245	15,942

10 博物館職員の講師依頼等

市内各公民館・小中学校等で実施される講座・研修等について、依頼に基づき博物館職員を講師として派遣した。(これに類するものも記載) 総計 58件(2名派遣の日あり)

内訳 生物19件 歴史19件 地質5件 民俗7件 天文9件

	演題等	依頼者	分野	月 日	場 所	担 当
1	環境情報センター自然環境 観察員野鳥分科会調査指導	環境情報セ ンター	生物	5月11日(土)	相模湖周辺	秋山幸也
2	清新小学校出前授業「相模 原ってどんなまち」	清新小学校	歴史	5月31日(金)	清新小学校	渡邊直展
3	道保川フォーラム	河川整備課	生物	6月7日(金)	麻溝公民館	秋山幸也
4	津久井歴史ウォーク	津久井中央 公民館	歴史	6月9日(日)	鳥屋周辺	井上泰
5	大沢小学校出前授業「昔の 暮らし」	大沢小学校	歴史	6月14日(金)	大沢小学校	渡邊直展
6	石造物並びに石材について	横浜市歴史 博物館	民俗・ 地質	6月18日(火)	横浜市港北 区	加藤隆志 河尻清和
7	七夕お楽しみ会	大野南公民 館	天文	6月29日(土)	大野南公民 館	有本雅之
8	「大山道と大山詣で」	市民大学O B会	民俗	7月4日(木)	市立産業会 館	加藤隆志
9	「大人の社会科～大野北の 歴史と現在」	大野北公民 館	民俗	7月5日(金)	大野北公民 館	加藤隆志
10	「出張観望会」	横山公民館	天文	8月1日(木)	横山公民館	有本雅之
11	「子どもと本をつなぐブッ クトーク」	相模大野図 書館	生物	8月6日(火)	相模大野図 書館	秋山幸也
12	ユニコムプラザ・オーサー ズカフェ「相模原台地の成 り立ち」	ユニコムプ ラザさがみ はら	地質	8月24日(土)	ユニコムプ ラザさがみ はら	河尻清和
13	青根小中学校歴史ウォーキ ング	青根中学校	歴史	8月29日(木)	上青根周辺	井上泰
14	夏季特別講座「近世相給村 落の五人組」	横浜市歴史 博物館 古文書を読 む会	歴史	8月30日(金)	横浜市歴史 博物館	草薙由美
15	富士見小学校講師派遣「昔 の暮らし」	富士見小学 校	歴史	9月4日(水)	富士見小学 校	渡邊直展
16	麻溝ガイド研修会「段丘崖 の自然」	麻溝まちづ くりセンタ ー	生物	9月6日(金)	麻溝公民館	秋山幸也

平成 25 年度相模原市立博物館年報

17	鶴園小学校出前授業「昔の暮らし」	鶴園小学校	歴史	9月12日(木)	鶴園小学校	渡邊直展
18	校内の樹木しらべ(教員向け)	青葉小学校	生物	9月18日(水)	青葉小学校	秋山幸也
19	八王子学園都市大学「いちよう塾」	八王子学園都市大学	民俗	9月21日(土)	八王子市南大沢総合センター	加藤隆志
20	もえぎ台小学校出前授業「昔の暮らし」	もえぎ台小学校	歴史	9月26日(木)	もえぎ台小学校	渡邊直展
21	大野台中央小講師派遣「カイコを育てる」	大野台中央小学校	生物	10月2日(水)	大野台中央小学校	秋山幸也
22	「高齢者学級」	星が丘公民館	歴史	10月10日(木)	星が丘公民館	土井永好
23	中央公民館ウォーキング	中央公民館	生物	10月11日(金)	中央公民館	秋山幸也
24	ユニコムプラザオーサースカフェ「相模原の絶滅危惧生物」	ユニコムプラザさがみはら	生物	10月19日(土)	ユニコムプラザさがみはら	秋山幸也
25	弥栄中学校職業講和	弥栄中学校	地質	10月31日(木)	弥栄中学校	河尻清和
26	「田名そうえん学級」	田名公民館	民俗	11月1日(金)	田名公民館	加藤隆志
27	谷口台小学校出張授業「カイコを育てる」	谷口台小学校	生物	11月1日(金)	谷口台小学校	秋山幸也
28	自然環境観察セミナー	環境情報センター	生物	11月1日(金)	環境情報センター	木村知之
29	自然環境観察員野鳥部会研修会	環境情報センター	生物	11月9日(土)	境川	秋山幸也
30	海老名中学校自然科学部校外活動	海老名中学校	地質	11月10日(日)	石老山・青野原周辺	河尻清和
31	夢の丘小学校出前授業「昔の暮らし」	夢の丘小学校	歴史	11月11日(月)	夢の丘小学校	渡邊直展
32	もえぎ台小学校出張観望会	もえぎ台小学校	天文	11月15日(金)	もえぎ台小学校	有本雅之
33	向陽小学校出前授業「清兵衛新田」	向陽小学校	歴史	11月19日(火)	向陽小学校	渡邊直展
34	文化財研究協議会津久井巡検	文化財研究協議会	歴史	11月20日(水)	津久井地区	土井永好

平成 25 年度相模原市立博物館年報

35	神奈川県立生命の星・地球博物館友の会「地話懇話会」	神奈川県立生命の星・地球博物館	地質	11月27日(水)	神奈川県立生命の星・地球博物館	河尻清和
36	東林公民館・東林小学校出張観望会	東林公民館・東林小学校	天文	11月30日(土)	東林公民館・東林小学校	有本雅之
37	相模台小学校「社会科」	相模台小学校	天文	12月3日(火)	相模台小学校	有本雅之
38	「カワラノギクの生態と保全について」	淵野辺小学校	生物	12月5日(木)	淵野辺小学校	秋山幸也
39	沢井公民館出張観望会	沢井公民館	天文	12月22日(日)	沢井公民館	有本雅之
40	「カイコをめぐる郷土の資料」	東京家政大学	生物	1月8日(水)	東京家政大学	秋山幸也
41	清新小学校出前授業「昔の暮らし」	清新小学校	歴史	1月16日(木)	清新小学校	渡邊直展
42	神奈川県環境科学センター講師派遣「河川の生物多様性」	神奈川県環境科学センター	生物	1月18日(土)	神奈川県環境科学センター	秋山幸也
43	上鶴間公民館「おやこ冬の星空観察会」	東林公民館	天文	1月18日(土)	東林公民館	有本雅之
44	中野小学校出前授業「昔の暮らし」	中野小学校	歴史	1月23日(木)	中野小学校	渡邊直展
45	相模原市自然環境観察員制度「平成25年度全体調査検討会」	環境情報センター	生物	1月24日(金)	環境情報センター	秋山幸也
46	星が丘公民館「出張観望会」	星が丘公民館	天文	2月2日(日)	星が丘公民館	有本雅之
47	作の口小学校出前授業「昔の暮らし」	作の口小学校	歴史	2月6日(木)	作の口小学校	渡邊直展
48	鶴の台小学校出前授業「昔の暮らし」	鶴の台小学校	歴史	2月7日(金)	鶴の台小学校	渡邊直展
49	寒川町野鳥観察会	寒川町	生物	2月11日(火)	寒川町	秋山幸也
50	相武台小学校出前授業「昔の暮らし」	相武台小学校	歴史	2月14日(金)	相武台小学校	渡邊直展
51	中央小学校出前授業「昔の暮らし」	中央小学校	歴史	2月19日(水)	中央小学校	渡邊直展

平成 25 年度相模原市立博物館年報

52	さがまちカレッジ講師	相模原・町田大学地域コンソーシアム	民俗	2月21日(金)	ユニコムプラザさがみはら	加藤隆志
53	グリーンカレッジつくいふるさと談義「青山 神さま 仏さま」	津久井生涯学習センター	歴史	3月8日(土)	青山周辺	井上泰
54	横山公民館「出張天文教室」	横山公民館	天文	3月9日(日)	横山公民館	有本雅之
55	「ふるさとはだの案内人養成講座」	秦野市教育委員会	民俗	3月15日(土)	秦野市立桜土手古墳展示館	加藤隆志
56	城山エコミュージアム自然部会学習会	城山エコミュージアム	生物	3月15日(土)	小松城北	秋山幸也
57	大野台中央小学校こもれび交流タイム	大野台中央小学校	生物	3月18日(火)	大野台中央小学校	秋山幸也
58	生物多様性地域戦略ワークショップ	環境情報センター	生物	3月27日(木)	環境情報センター	秋山幸也

1 1 市民との協働

(1) 市民学芸員

ア 内容 学習資料展の企画・準備と関連事業運営、クイズラリー企画・運営、星空観望会補助等を実施した。また、有志による、常設展示「自然・歴史展示室」の展示替えに向けての検討会を開始した。

イ 登録者 33人

ウ 参加者 延べ 692人(活動回数:81回)

(2) さがみはら水生動物調査会

ア 内容 相模原市内での水生動物の調査や講師派遣への協力を行った。

イ 登録者 15人

ウ 参加者 延べ 45人

(3) 相模原植物調査会

ア 内容 市域の植物相調査を行うとともに、標本作製、整理を行った。また、月1回程度の例会を行い、標本を使った植物分類の勉強会を行った。

イ 登録者 57人

ウ 参加者 延べ 280人

(4) 相模原地質研究会

ア 内容 市内および周辺地域の地質調査や資料整理を行った。地質学講座や子ども鉱物教室など地質分野の教育普及活動を学芸員とともにを行った。

イ 登録者 11人

ウ 参加者 延べ 84人

(5) 相模原縄文研究会

ア 内容 市内の縄文時代遺跡の調査と資料整理を行った。また、学びの収穫祭で活動紹介を博物館と協働で行った。

イ 登録者 13人

ウ 参加者 延べ 160人

(6) 民俗調査会A(19年度結成)

ア 内容 市域のフィールドワークを行いながら、下溝地区及び相原地区の「民俗探訪会」を実施した。

イ 登録者 21人(平成26年3月末現在)

ウ 参加者 延べ 149人(毎月一回実施しているフィールドワーク他の参加人数)

*このほかに、横浜市歴史博物館「民俗に親しむ会」との交流会を、4月20日・伊勢原市大山地区(相模原側参加者15名・横浜側参加者8名)及び、11月4日・川崎市麻生区・町田市三輪町・横浜市青葉区(相模原12名・横浜8名)において実施した。

(7) 民俗調査会B(19年度結成)

ア 内容 「八王子道から東海道へ」をテーマにフィールドワークを行った。

イ 登録者 27人(平成26年3月末現在)

ウ 参加者 延べ 290人(毎月一回実施しているフィールドワーク他の参加人数)

(8) 水曜会(22年度結成)

ア 内容 津久井郷土資料館(当時)に保管されていた鈴木重光氏が寄贈された資料のうち、未整理のものについて目録化などの整理を行った。また、収蔵品展「埋もれた“モノ”に光を!・津久井郷土資料室資料紹介 ~市民の力で博物館資料へ~」を実施した。

- イ 登録者 16名(平成26年3月末現在)
- ウ 参加者 延べ 422人(毎月2~3回程度実施している作業及び展示に参加した人数)

(9) 相模原市立博物館天文クラブ(23年12月24日発足)

- ア 内容 相模原市立博物館と協働して、身近に起きる天文現象の記録化と資料化を図り、資料の保存事業や展示等の教育普及事業に協力する活動を行った。
- イ 登録者 20人(平成25年3月末現在)
- ウ 参加者 延べ 117人(4月~2月:天体写真撮影、作品展示ほか)

(10) 福の会(24年度結成)

- ア 内容 博物館で収集した民俗資料の整理作業を行うことを目的に結成され、下溝地区・福田家の蔵に収納されていた資料やそのほかの資料の整理を行った。また、「蔵の中の世界・福田家資料紹介~市民の力で博物館資料へ~」を行うとともに、麻溝公民館の「麻溝地区文化展」においても展示を実施した。
- イ 登録者 15名(平成26年3月末現在)
- ウ 参加者 延べ 320人(毎月2回程度実施している作業及び展示に参加した人数)

(11) NPO法人ふじの里山くらぶ

- ア 内容 相模原市協働事業提案制度により採択された「吉野宿ふじや活性化事業」の実施団体として、吉野宿ふじやを拠点に地域の特性を活かし情報発信活発化のための各種事業を博物館と協働で実施した。
 - リニューアル・オープン展「甲州道中・吉野宿と“ふじや”」
 - 歴史散策「緑区藤野地域の甲州道中を行く」
 - 第2回企画展「藤野の懐かしい写真展」
 - 語り合うつどい「藤野の魅力と可能性」
 - さがみはら発見のこみち「甲州道中 吉野宿マップ」制作(3万部)
- イ 実施日 7月2日(火)~9月1日(日)
 - 11月4日(月・祝)
 - 12月17日(火)~3月16日(日)
 - 1月19日(日)
- ウ 参加者 485名
 - 34名(募集定員制)
 - 533名
 - 83名

(12) 神奈川工科大学 情報学部 情報メディア学科 白井研究室

- ア 内容 「みんなでつくる相模原『知的探求散策アルバム』」という事業名で、市民が自ら市内の自然・歴史・文化等に関する情報を収集し、発信する方法を博物館と協働で探った。実施内容:来館者への大規模アンケート調査、博物館エントランスへのデジタルサイネージの設置、無線LANの整備、「スマ歩さがみはら」の公開、博物館ホームページリニューアル等。

資料管理

1 博物館収蔵資料点数（平成 26 年 3 月 31 日現在）

博物館収蔵資料点数リスト

分野	分類	収蔵庫名	収蔵点数	単位	分野計
考古	考古資料	考古資料収蔵庫等	6,174	箱	6,174
歴史	歴史資料	古文書収蔵庫	5,975	点	43,534
	歴史資料	生活資料収蔵庫	1,304	点	
	歴史資料	特別収蔵庫	11,088	点	
	古文書等市史資料	古文書収蔵庫	3,315	点	
	古文書等市史資料	特別収蔵庫	21,740	点	
	購入資料	特別収蔵庫	112	点	
民俗・地理	民俗・生活資料	生活資料収蔵庫	21,585	点	29,061
	軍事資料	大型資料収蔵庫	1,565	点	
	地図・写真資料	図面保管庫	5,911	点	
地質	化石資料	地質資料収蔵庫等	189	点	3,648
	岩石・薄片資料	地質資料収蔵庫等	1,207	点	
	テフラ資料	地質資料収蔵庫等	1,369	点	
	ボーリング資料	地質資料収蔵庫	323	点	
	砂礫・泥流堆積物資料等	地質資料収蔵庫等	558	点	
	文献	地質資料収蔵庫等	2	点	
動物	魚類	液浸標本収蔵庫	40	点	38,267
	昆虫類	動植物資料収蔵庫	37,567	点	
	小動物等	液浸標本収蔵庫	594	点	
	鳥類	動植物資料収蔵庫	61	点	
	哺乳類	動植物資料収蔵庫	5	点	
植物	乾燥標本等	動植物資料収蔵庫	48,634	点	48,640
	植物画資料	動植物資料収蔵庫	6	点	
天文	スライド等	フィルム収蔵庫	2,108	点	2,121
	購入資料	天文展示室	13	点	
二次資料	図書	市民研究室等	40,970	点	45,211
	ビデオ・CD-ROM, DVD ソフト	情報サービスコーナー	428	点	
	歴史関係図書類	古文書収蔵庫	3,813	点	
合 計			216,656	点	

館内収蔵美術品資料点数リスト

館内収蔵美術品(文化振興課扱)

分野	分類	収蔵庫名	収蔵点数	単位	分野計
美術品	絵画	美術品収蔵庫	394	点	2,261
	書	美術品収蔵庫	55	点	
	彫刻	美術品収蔵庫	2	点	
	写真	フィルム収蔵庫	1,810	点	

平成 25 年度相模原市立博物館年報

館内収蔵市史資料

分野	分類	収蔵庫名	収蔵点数	単位	分野計
市史資料	行政資料	古文書収蔵庫	600	点	600

博物館関連施設収蔵資料点数リスト

分野別一覧

分野	分類	施設名	収蔵点数	単位	分野計
考古	考古資料	相模湖資料収蔵庫	219	箱	1,177
		津久井郷土資料室	354	箱	
		城山郷土資料保管庫	444	箱	
		吉野宿ふじや	160	箱	
歴史	歴史資料	津久井郷土資料室	688	点	5,522
		尾崎弔堂記念館	3,816	点	
		小原本陣・小原の郷	254	点	
		城山郷土資料保管庫	95	箱	
		吉野宿ふじや	669	点	
民俗・地理	民俗・生活資料	津久井郷土資料室	14,503	点	17,221
		小原本陣・小原の郷	401	点	
		城山郷土資料保管庫	847	点	
		吉野宿ふじや	1,470	点	
動物	昆虫類	吉野宿ふじや	115	点	115
合計			24,035	点	

施設別一覧

施設	分野	分類	収蔵点数	単位	施設別
相模湖資料収蔵庫	考古	考古資料	219	箱	219
津久井郷土資料室	考古	考古資料	354	箱	15,545
	歴史	歴史資料	688	点	
	民俗・地理	民俗生活資料	14,503	点	
尾崎弔堂記念館	歴史	歴史資料	3,816	点	3,816
小原本陣・小原の郷	歴史	歴史資料	254	点	655
	民俗・地理	民俗生活資料	401	点	
城山郷土資料保管庫	考古	考古資料	444	箱	1,386
	歴史	歴史資料	95	箱	
	民俗・地理	民俗生活資料	847	点	
吉野宿ふじや	考古	考古資料	160	箱	2,414
	歴史	歴史資料	669	点	
	民俗・地理	民俗生活資料	1,470	点	
	動物	昆虫類	115	点	
合計			24,035	点	

2 資料・収集整理

分野	内 容
考古	埋蔵文化財再整理（国庫補助事業）
歴史	寄贈・寄託歴史資料の分類整理、市域生活資料の収集及び資料カード作成、尾崎行雄(号堂)関係資料の分類整理
民俗	市域の民俗資料の収集及び収蔵番号の整備などの諸整理
動物	動物資料の収集及び標本の作製・整理、適正な保管を目的とした点検作業
植物	植物資料の収集及び標本の作製・整理、自然観察会の歴史的資料の収集
地質	地質資料の収集及び標本の作製・整理、収蔵資料の整理
天文	天文現象・太陽画像の撮影 インターネットによる公開天文台ネットワーク等からの画像収集
情報	他博物館等から送付された刊行物の整理

3 購入資料

区 分	内 容
学術専門雑誌	考古学ジャーナル、月刊むし、天文月報等の専門雑誌 15 種 (市民研究室、天文研究室で開架)

4 有害生物管理の実施

(1) 受入れ資料のくん蒸

年 2 回、受入れ資料を対象に洗浄乾燥室においてガス薬剤（エキヒューム）を用いた定期的な被覆くん蒸を実施した。

(2) 有害生物調査

6 月～10 月、収蔵庫および作業室を対象に、各種トラップを用いて有害生物の侵入状況を調査した。

5 資料の特別利用

利用総件数 70 件（平成 25 年度中に利用申請されたもの）

資 料	区 分	利用期間	申 請 者	目 的
上鶴間村古木家文書	閲覧	4 月 5 日	個人	調査研究
大沢村・田名村兵事資料	閲覧	4 月 12 日	個人	調査研究
地形図（平塚他）	閲覧	4 月 25 日	個人	調査研究
旧大谷家主屋復元住居	撮影	5 月 2 日	個人	調査研究
地形図（八王子）	閲覧	5 月 4 日	個人	調査研究
航空写真（麻溝台）	閲覧・複写	5 月 17 日	個人	調査研究
教科書	撮影	5 月 28 日	個人	調査研究
勝坂遺跡出土品写真他	データ提供	5 月 30 日	市文化財保護課	出版物掲載

平成 25 年度相模原市立博物館年報

勝坂有鹿谷戸祭祀遺跡出土品	閲覧	5月30日	横浜市歴史博物館	調査研究
勝坂有鹿谷戸祭祀遺跡写真	館外貸出	5月30日～8月30日	横浜市歴史博物館	パネル作成・図録掲載
当麻亀形遺跡他出土品	館外貸出	6月6日～6月12日	市文化財保護課	資料展示
勝坂有鹿谷戸祭祀遺跡出土品	館外貸出	6月11日～10月18日	横浜市歴史博物館	資料展示
住居表示新旧対照案内図	撮影・閲覧	6月8日	相原の歴史を探索会	調査研究
地形図・航空写真（共和）	閲覧	6月18日	個人	土地調査
勝坂有鹿谷戸祭祀遺跡出土品写真	館外貸出	6月19日～8月30日	横浜市歴史博物館	パネル作成・図録掲載
月見写真	館外貸出	6月20日～10月30日	(株)本作り空	出版物掲載
チョウ類標本	館外貸出	6月29日～8月31日	県立相模原公園	資料展示
縄文土器・土師器・須恵器	館外貸出	7月10日～7月22日	県立相模原総合高校	学習教材
山王平遺跡出土品他	閲覧	8月22日	個人	調査研究
中村遺跡出土品他	館外貸出	8月27日～1月17日	岩宿博物館	資料展示
新地図 外国之部	撮影	9月1日	個人	講座資料
縄文土器	撮影・模写	8月30日	個人	美術品創作の参考
勝坂遺跡出土品他	館外貸出	9月3日～12月13日	山梨県立考古博物館	資料展示
上中丸遺跡出土品他	閲覧	9月4日	個人	調査研究
寺原遺跡線刻画土器他	撮影	9月11日	市文化財保護課	調査資料
旧新磯村役場文書他	撮影・閲覧	9月11日	相武台のナベト口遺跡をたどる会	調査研究
鈴木重光氏旧蔵資料	撮影	9月26日	筑波大学	調査研究
航空写真	閲覧	10月1日	(株)平成建設	土地調査
三ヶ木式土器写真（ふるさと津久井第1号口絵）	模写	10月6日	市立橋本図書館	出版物掲載等
勝坂有鹿谷戸祭祀遺跡出土品	館外貸出	10月20日～12月25日	國學院大學博物館	資料展示
正月七日付北条氏邦法度	その他（複写）	10月21日～1月31日	個人	論文掲載
福田家収蔵品及び展示パネル	館外貸出	11月2日～11月3日	麻溝地区文化展実行委員会	資料展示
旧大野村役場資料	閲覧	10月9日	個人	調査研究
下原遺跡出土品他	閲覧	10月26日	神奈川県文化遺産課	調査研究

平成 25 年度相模原市立博物館年報

谷原 2 号墳出土装身具類	館外貸出	1 1 月 1 日 ~ 1 1 月 2 9 日	市文化財保護課	資料展示
小原宿本陣関係文書	撮影・閲覧	1 0 月 3 1 日	個人	調査研究
相州津久井領絵図写真	館外貸出	1 1 月 5 日 ~ 1 1 月 2 9 日	市緑区役所串川 出張所	資料展示
田名塩田遺跡群 出土品他	閲覧	1 1 月 6 日	個人	調査研究
陸軍士官学校新築工事概要写 真他	撮影・閲覧	1 1 月 7 日	相武台のナベト 口遺跡をたどる 会	調査研究
小川忠良氏寄託文書	館外貸出	1 1 月 1 5 日 ~ 3 月 3 1 日	個人	出版物掲 載
上中丸遺跡出土品他	撮影・閲覧	1 1 月 1 0 日	個人	調査研究
寺原遺跡出土品他	撮影・閲覧	1 1 月 1 6 日	神奈川県文化遺 産課	調査研究
旧淵野辺村鈴木氏寄託資料	撮影・閲覧	1 1 月 2 0 日	地元学大野台	調査研究
ゲンジボタル写真	データ提供	1 1 月 2 2 日 ~ 3 月 3 1 日	市水みどり環境 課	資料展示
勝坂遺跡出土品	撮影・閲覧	1 1 月 2 8 日	首都大学東京	調査研究
絵はがき 城山隧道他	撮影	1 2 月 1 日	個人	調査研究
「相模原台地の畑作」映像	データ提供	1 2 月 5 日	国立民族学博物 館	映像展示
勝坂有鹿谷戸祭祀遺跡写真	館外貸出	1 2 月 1 0 日 ~ 1 2 月 3 0 日	藤沢市郷土歴史 課	出版物掲 載
鳩川・姥川写真	館外貸出	1 2 月 2 5 日 ~ 1 月 2 5 日	神奈川県水源環 境保全課	行政利用
上中丸遺跡出土品	撮影・閲覧	1 2 月 2 1 日	個人	調査研究
田名向原遺跡住居状遺構写真	館外貸出	1 月 2 6 日 ~ 3 月 3 1 日	(株)雄山閣	出版物掲 載
博物館空撮写真	データ提供	1 月 7 日	(株)K プロビジョン	出版物掲 載
地形図(八王子)	閲覧	1 月 7 日	個人	調査研究
航空写真	閲覧・複写	1 月 9 日	個人	調査研究
田名向原遺跡住居状遺構他写 真	その他(デー タ利用)	1 月 2 5 日	個人	論文掲載
下九沢相模原遺跡出土品	閲覧	1 月 3 1 日	首都大学東京	調査研究
ムササビはく製	館外貸出	1 月 1 5 日 ~ 1 月 3 1 日	県立津久井湖城 山公園	資料展示
橋本遺跡出土品	撮影・閲覧	2 月 1 1 日	個人	調査研究
陸軍士官学校新築工事概要写 真	館外貸出	2 月 1 4 日 ~ 2 月 1 6 日	相武台のナベト 口遺跡をたどる 会	出版物掲 載
地形図(藤野)	閲覧	2 月 1 4 日	国土防災技術(株)	調査研究

勝坂遺跡出土品他	撮影・閲覧	2月28日	個人	調査研究
航空写真	閲覧・複写	2月18日	個人	調査研究
津久井城御屋敷発掘調査写真	データ提供	3月7日	県津久井治水センター	出版物掲載
航空写真	閲覧	3月18日	建築審査課	行政利用
チゴヨリ他植物写真	データ提供	3月25日～ 3月27日	相模湖地区まちづくり会議艦攻専門部会	案内看板作成
高座郡上溝町全図	データ提供	3月20日	(株)ロム・インターナショナル	出版物掲載
都市計画図(相模湖)他	閲覧・複写	3月25日	個人	調査研究
トンボ鉛筆ポスター	データ提供	3月30日	(株)文英堂	出版物掲載
一遍上人立像レプリカ写真	データ提供	3月28日	跡部踊り念仏保存会	出版物掲載
地形図(原町田・上溝)	閲覧	3月30日	FMさがみ	番組作成資料

調査研究

分野及び調査者	内容と成果
考古資料の調査 正 洋樹	大日野原遺跡の発掘調査を実施し、(中央大学との共同調査)縄文時代中期の集落跡の一部を検出した。
民俗資料の調査 加藤 隆志	祭礼・行事をはじめ、市内外のさまざまな調査内容をホームページ上の「博物館の窓・民俗の窓」において随時掲載した。
歴史資料の調査 土井 永好	市域の近世～近現代資料の整理・分類を進めた。また、長野県軽井沢町に残る尾崎行雄(号堂)関係未出資料を継続調査し、所蔵者承諾のもとその成果を研究報告第22集に掲載した。
植物資料の調査 秋山 幸也	市内の維管束植物などの植物相調査を進め、その中で明らかになった市内に自生する絶滅危惧植物の保全、増殖事業に着手した。
地質資料の調査 河尻 清和	相模原市周辺、相模川(桂川)・北秋川・多摩川上流部の地質調査を行った。調査結果の一部は、ホームページの「博物館の窓」、研究報告第22集、日本地質学会第120年学術大会において公表した。
天文資料の調査 山田 陽志郎	企画展に関連してピオンカプセルについて調査研究を行い、その成果をホームページ上の「博物館の窓」や研究報告第22集に掲載した。

検討会委員等の派遣

八王子市市史編集専門部会委員 加藤隆志
 神奈川県生物多様性保全検討委員会 秋山幸也
 神奈川県丹沢再生委員会委員 秋山幸也
 県立津久井湖城山公園自然に関する連絡会委員 秋山幸也
 町田市生物多様性保全計画策定専門委員会委員 秋山幸也
 清川村史編集委員会委員 守屋博文

市史・町史編さん

1 相模原市史

(1) 市史編さん審議会

ア 趣旨 市史編さんに関する重要な事項について、市長の諮問に応じて調査・審議する附属機関、委員 10 人。事務統合のため平成 22 年度から津久井町史についても取り扱うこととした。

イ 委員構成（任期 2 年）

平成 23 年 7 月 31 日～平成 25 年 7 月 30 日

氏名	備考	選出区分
梅田 和 治	公募委員	公募委員
大塚 喜 一	元津久井町教育委員会教育委員長	学識経験者
篠崎 好 男	公募委員	公募委員
高村 敦 子	元相模原市立中央中学校教諭	学識経験者
中村 洋 子	元大野南公民館長 副会長	学識経験者
長澤 敬 子	元相模原市立くぬぎ台小学校長	学識経験者
奈良 雅 之	元相模湖町立北相中学校長	学識経験者
樋口 雄 一	元神奈川県公文書館郷土資料課長 会長	学識経験者
藤川 まなみ	桜美林大学准教授	学識経験者
矢野 英 明	帝京大学教職大学院客員准教授	学識経験者

平成 25 年 7 月 31 日～平成 27 年 7 月 30 日

氏名	備考	選出区分
高城 玲 子	公募委員	公募委員
高村 敦 子	元相模原市立中央中学校教諭	学識経験者
長澤 敬 子	元相模原市立くぬぎ台小学校長	学識経験者
中村 洋 子	元大野南公民館長 副会長	学識経験者
奈良 雅 之	元相模湖町立北相中学校長	学識経験者
樋口 雄 一	元神奈川県公文書館郷土資料課長 会長	学識経験者
藤川 まなみ	桜美林大学准教授	学識経験者
守屋 浩 之	津久井湖城山公園自然環境に関する連絡会委員	学識経験者
矢野 英 明	帝京大学教職大学院客員教授	学識経験者
山村 比呂志	公募委員	公募委員

ウ 活動状況

回	開催日	おもな内容
1	8月21日(水)	(1) 会長及び副会長の選出について、(2) 平成 24 年度及び 25 年度市史・町史編さん事業の実施状況について、(3) 平成 25 年度市史・町史編さん事業について、(4) 相模原市史現代テーマ編について(5) 付帯刊行物について
2	3月27日(木)	(1) 平成 25 年度市史・町史編さん事業の実施状況について、(2) 相模原市史現代テーマ編の構成について、(3) 相模原市史文化遺産編の構成(案)について、(4) 津久井町史通史編 2 近世・近代・現代の構成(案)について、(5) 津久井町史文化遺産編(案)について、(6) 付帯刊行物について

(2) 市史編集委員会

ア 趣旨及び委員構成

市史の編集方針及び執筆内容を検討する委員会。任期2年、委員10人、年2回開催

イ 活動状況

回	開催日	おもな内容
1	9月 3日(火)	(1)平成24年度及び平成25年度市史編さん事業の実施状況について、(2)相模原市史現代テーマ編の章立てについて、(3)文化遺産編について
2	3月18日(火)	(1)平成25年度市史編さん事業の実施状況について、(2)相模原市史現代テーマ編について(3)文化遺産編について

(3) 各専門部会の活動状況

近現代部会

ア 部会の開催(現代テーマ編の編集について)

8日(4月13日、5月18日、6月29日、8月24日、9月28日、11月9日、12月21日、26年2月22日)

イ 近現代部会編集委員会(現代テーマ編の編集のまとめ)

平成26年1月17日(土)金原部会長・栗田・浜田委員による状況確認

ウ 聞き取り調査

3日(6月13日、7月3日、26年1月8日)

文化遺産部会

ア 部会の開催(文化遺産編の構成、執筆状況報告外について)

1日(5月24日)

イ 古民家・長屋門・神輿の調査

8日(8月24日、9月26日、9月28日、10月3日、10月5日、10月12日、10月17日、11月9日)

ウ 近代建築・土木調査の実施

1日(11月28日)

エ 社寺写真撮影に関する打合せ

1日(平成26年1月28日)

(4) 普及事業

ア 『相模原市史ノート』第11号の発行 A5判、100ページ、700部

イ 市史講演会・津久井町史自然編刊行記念 「虫は不思議でおもしろい！」

内容 「津久井町史自然編」執筆者の一人である養老孟司さんが、自身の研究を通して、虫の不思議さや面白さについての講演を行った。

実施日 9月22日(日)

参加者 192人

講師 養老孟司さん(解剖学者・東京大学名誉教授)

ウ 市史刊行物の販売

各行政資料コーナー、博物館で販売

相模原市書店協同組合加盟店での販売を実施(平成20年4月～)

2 津久井町史

(1) 町史編集委員会

町史編さんに必要な資料調査・収集を行うとともに、刊行物の企画及び構成の検討・編集等を行う委員会。任期2年、委員15人。なお、委員会は、平成20年8月の要綱改正により、必要に応じて編集委員長が招集し、部会及び特別部会ごとに開催する。平成25年度は、本編

の刊行予定がないため開催していない。

(2) 各専門部会の活動状況

町史編集委員会に設置された原始・古代、中世、近世、近代・現代、自然の各部会及び合同部会長会議を開催し、刊行物の構成の検討や刊行に向けた調査・執筆、編集作業を行った。

原始・古代部会

- ア 部会の開催（通史編 1 の執筆内容、目安とするページ数の検討など）
2 日（11月2日、26年3月15日）
- イ 調査の実施
 - ・考古資料調査 遺物確認や現地踏査等の調査を随時実施

中世部会

- ア 調査の実施
 - ・中世資料調査 後北条氏文書等中世文書や関連文献等の調査を随時実施

近世部会

- ア 部会の開催（通史編 2 の執筆内容や進行状況等について確認・検討）
4 日（4月17日、7月17日、11月20日、26年3月11日）
- イ 調査の実施
 - ・近世資料調査 御用留等古文書資料や関連文献等の調査を随時実施

近代・現代部会

- ア 分科会の開催（通史編 2 の執筆内容や進行状況等について時代別に確認・検討）
 - ・近代分科会 8 日（4月2日、5月14日、6月4日、7月4日、8月6日、9月3日、12月3日、26年2月13日）
 - ・現代分科会 2 日（9月25日、1月22日）
- イ 調査の実施
 - ・近代資料調査 個人・機関所蔵資料や関連文献等の調査を随時実施
 - ・現代資料調査 旧支所文書や個人・機関所蔵資料、関連文献等の調査を随時実施

自然部会

- ア 部会の開催（自然編刊行に伴う普及事業の確認・検討など）
1 日（4月25日）

合同部会長会議

- ア 会議の開催（平成 25 年度町史編さん事業の実施状況について、通史編 2 について、文化遺産編（案）について、『ふるさと津久井第 6 号』について、津久井町史刊行スケジュール（案）について）
1 日（26年3月26日）

(3) 普及事業

- ア 『ふるさと津久井』第 6 号の発行 A 5 判、142 ページ、700 冊
- イ 町史刊行物の販売（相模原市及び旧津久井 4 町の刊行物を含む）
津久井町史資料編及び自然編、附帯刊行物
博物館及び各行政資料コーナーで販売
相模原市書店協同組合加盟店での販売を実施（平成 20 年 4 月～）

博物館関連施設

1 尾崎弔堂記念館（緑区又野）



尾崎弔堂記念館は、「憲政の神」といわれた尾崎行雄（弔堂）を多くの人に知ってもらおうと、生誕地である尾崎家代々の屋敷跡に昭和 32 年 1 月に、「尾崎弔堂うまれ地記念事業委員会」によって建設された。

昭和 33 年度に旧津久井町に寄贈され、平成 18 年 3 月の市町村合併に伴い相模原市教育委員会が所管引継ぎした。

敷地内には、尾崎自身の筆による「善悪乃標準の碑」が建てられており、館内には写真や肖像画、遺品のほかに幅広い活動の足跡を物語る資料が保存、展示されている。

（1）善悪乃標準の碑

敷地内に入って、右手にある秩父産の花崗岩でできた高さ 3 メートル、幅 50 センチメートルの碑面には、「世人乃幸福をます言行八みな善事之をへらす言行八みな悪事」の文が刻まれている。碑は、東京都港区・故上木長氏の建立であったが、弔堂ゆかりの地に保存したいとの希望を受けて、昭和 46 年に現在の場所に移設された。

（2）弔堂桜・里帰り桜

尾崎行雄が東京市長在職中の明治 45 年、米国ワシントンのポトマック公園に 3,000 本の桜の苗木を贈り、「日米友好の証」を築いたことはよく知られている。ワシントンから東京都足立区に里帰りした染井吉野など 4 品種の桜苗木を『弔堂桜』と命名、その内の『普賢象』1 本が平成 4 年記念館の庭に植樹された。

また、平成 24 年には桜寄贈 100 周年を記念し、新たな里帰り桜が有志により植栽された。

2 吉野宿ふじや（緑区吉野）



吉野宿は、江戸時代初期に定められた五街道のひとつ、「甲州道中」の 10 番目の宿場で江戸と甲府の中間にあたり、高遠藩・飯田藩・高島藩（諏訪藩）の参勤交代の常宿として栄えた。

「ふじや」は、かつて、旅籠「藤屋」として営まれていたが、明治 29 年の大火で焼失し、現在の建物は明治 30 年頃に建てられたものと言われている。

国道 20 号改良工事（歩道設置）に伴う曳家による移設及び改修が完了し、平成 25 年 7 月 2 日にリニューアルオープンし、平成 26 年 4 月 1 日には町家遺構としての見地から市登録文化財に登録された。

(1) 施設概要

- ア 延べ床面積 319.66㎡
- イ 建物構造 木造 2 階建て 切妻造 平入の町屋建築
- ウ 入館料 無料

3 津久井郷土資料室（緑区中野）



明治 35 年に第 1 号が発刊されてから昭和にかけての「少年倶楽部」「幼年倶楽部」「少女倶楽部」「婦人倶楽部」「少年世界」「少女世界」「婦人世界」「キング」、明治に発行された講談本・日本のお伽噺・世界お伽噺など貴重な資料を始め、緑区若柳出身の郷土史家・故鈴木重光氏の収集した膨大なコレクションを所蔵している。

また、神奈川県下市町村が発行した自治体史の資料も多数所蔵している。

(1) 江戸時代の教科書

江戸時代の寺子屋で使っていた和綴じ古文書（女大学、日本地志など）、江戸、明治、大正、昭和（戦前、戦中、戦後）にかけての貴重な教科書が収蔵されています。

(2) むかしの農機具や生活用具

大きな鋸、箱ゼン（食事に使用）、薬箱、薬調合器、織機、消防器具、農機具などを見ることができます。

4 入館者数一覧

(1) 尾崎琴堂記念館

	利用人数（人）	開館日数（日）	1 日平均（人）
22年度	1,364	295	4.6
23年度	1,674	295	5.6
24年度	1,767	294	6.0
25年度	1,593	293	5.4
合計	6,398	1,177	5.4

(2) 津久井郷土資料室

	利用人数(人)	開館日数(日)	1日平均(人)
22年度	748	290	2.6
23年度	562	292	1.9
24年度	513	291	1.7
25年度	556	289	1.9
合 計	2,379	1,162	2.0

(3) 吉野宿ふじや

	利用人数(人)	開館日数(日)	1日平均(人)
22年度	1,874	304	6.2
23年度	1,847	308	6.0
24年度	1,094	1 183	6.0
25年度	2,132	2 228	9.4
合 計	6,947	1,023	6.8

- 休館期間
- 1 工事による休館 平成 2 4 年 1 1 月 1 日 ~ 平成 2 5 年 3 月 3 1 日
 - 2 工事による休館 平成 2 5 年 4 月 1 日 ~ 7 月 1 日
 - 降雪による休館 平成 2 6 年 2 月 1 8 日 ~ 2 月 2 6 日

発行日 平成 2 6 年 4 月 1 日
 相模原市立博物館
 住所 〒252-0221 相模原市中央区高根 3 - 1 - 1 5
 T E L 0 4 2 - 7 5 0 - 8 0 3 0
 F A X 0 4 2 - 7 5 0 - 8 0 6 1
 e-mail hakubutsukan@city.sagamihara.kanagawa.jp
 URL <http://www.remus.dti.ne.jp/~sagami/index.htm>